

目次	
はじめに.....	3
動作推奨環境.....	3
初期設定.....	4
ライセンスの認証.....	4
メタトレーダーについて.....	6
メタトレーダーのダウンロード.....	6
メタトレーダーのインストール.....	8
バックテスト用メタトレーダーについて.....	14
フォルダ設定.....	15
EA 作成手順.....	19
ファイルの種類.....	21
ealp ファイル.....	21
mq4 ファイル.....	22
ex4 ファイル.....	23
コンパイル手順.....	25
インジケータ設定方法.....	29
インジケータ設定例.....	31
カスタムインジケータ設定方法.....	34
カスタムインジケータ設定例 1.....	37
カスタムインジケータ設定例 2.....	39
EAB ウィンドウ説明.....	41
インジケータウィンドウ.....	42
利用中.....	42
標準.....	43
カスタム.....	43
ライン.....	44
チャートウィンドウ.....	44
チャート表示.....	44
簡易テスター.....	45
ソース表示.....	46
条件設定ウィンドウ.....	47
基本情報.....	47
メモ.....	48
関数.....	48
仕掛買い・仕掛売り.....	49
決済買い・決済売り.....	52
利食、損切.....	55
注文条件.....	57
時間指定.....	59
上級.....	60
メニューバー.....	60

ファイルメニュー.....	60
表示メニュー.....	61
チャートメニュー.....	61
ツールメニュー.....	64
MT4 連動設定.....	64
一般設定.....	65
フォント設定.....	67
プロジェクト設定.....	68
ヘルプメニュー.....	68
ステータスバー.....	71
EAB 更新履歴.....	73

はじめに

EABuilder はメタトレーダーの自動売買プログラムである Expert Advisor (EA) を、プログラムの知識がなくても作成できるソフトです。

作業はチャートを見ながら進めることができますので、とてもわかりやすいです。

EAにはメタトレーダー標準のインジケータだけでなく、カスタムインジケータも使用することができますので、ロジック作成の幅が広がります。

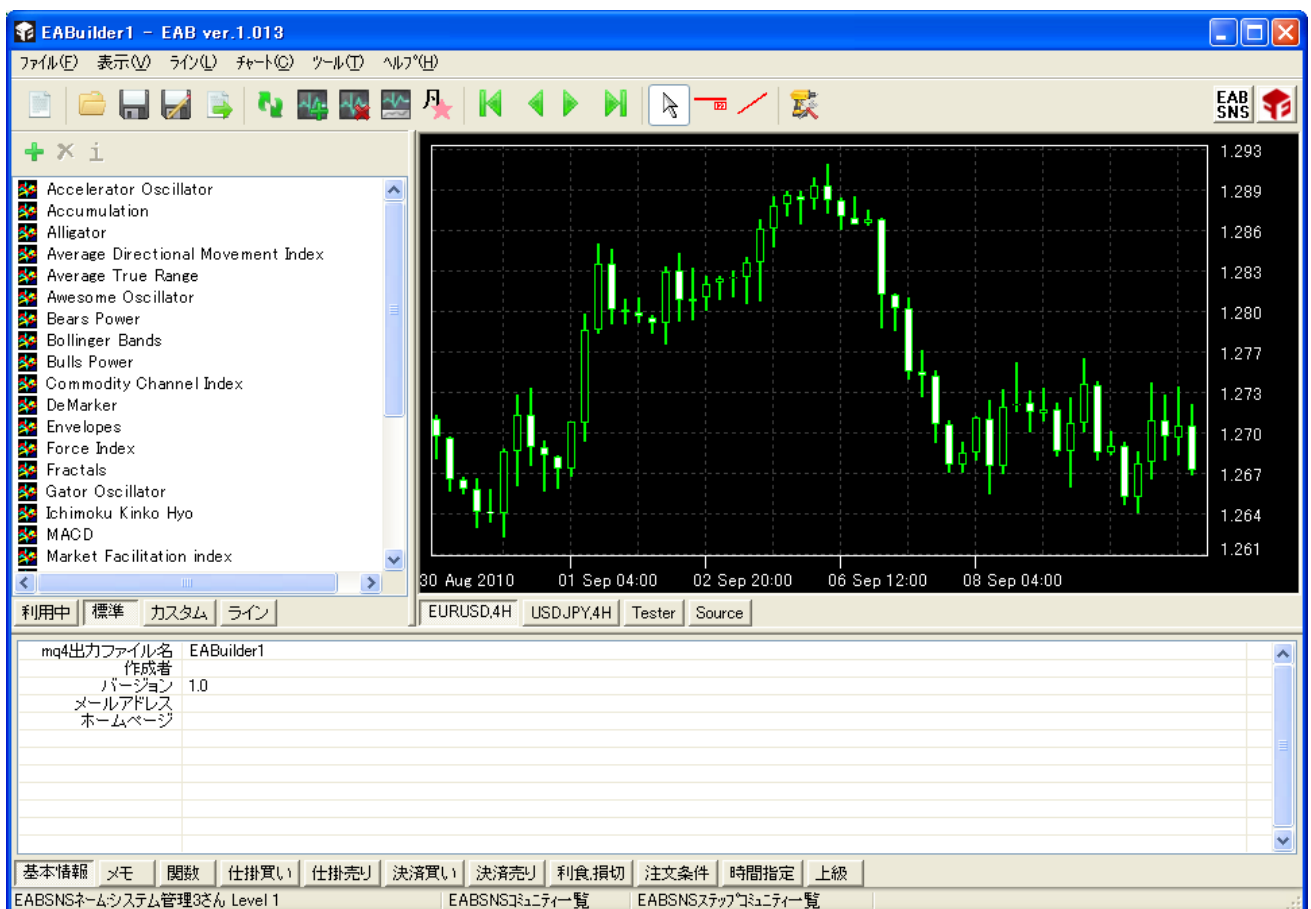
各種の利食い損切り設定や、注文条件、時間指定も可能となっています。

また、複雑なコードを書くことができる上級設定もありますので、レベルアップしていても使えます。

しかしながら、EABuilder を使用したからといってトレードに勝てるわけではありません。

まずは使い方を学んで、自分の考えるロジックを EA にしてみてください。

そしてそれを検証し、修正するという作業を繰り返すことにより、ロジックを強くしていきましょう。



動作推奨環境

CPU: インテル Core2Duo 及びその同等 CPU 以上

メモリー: 1GB 以上

OS: WindowsXP/WindowsVista/Windows7

初期設定

EAB を使用するには、ライセンスの認証を完了し、フォルダの設定を完了している必要があります。

ライセンスの認証

ライセンスは EABuilder 1 つに対して 1 ライセンスで、PC1 台の登録が可能となっていますので、メインで使用される PC で登録してください。複数台で使用する場合は必要な数の EAB をご購入ください。

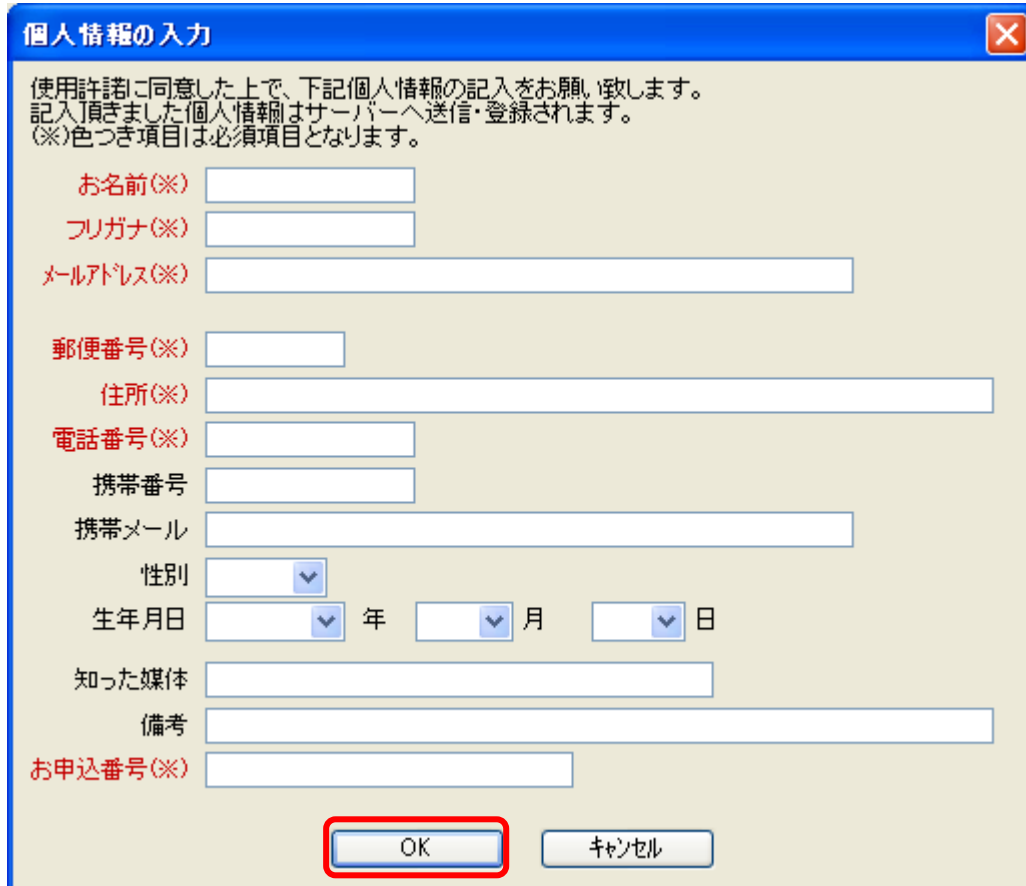
「ヘルプ」の「バージョン情報と認証」を選択すると、「EABuilder について」が開きますので、「初回ライセンス登録実行」をクリックします。



個人情報の入力が開きますので、必要事項を入力してください。入力後、「OK」をクリックすると情報がサーバーに送信されます。

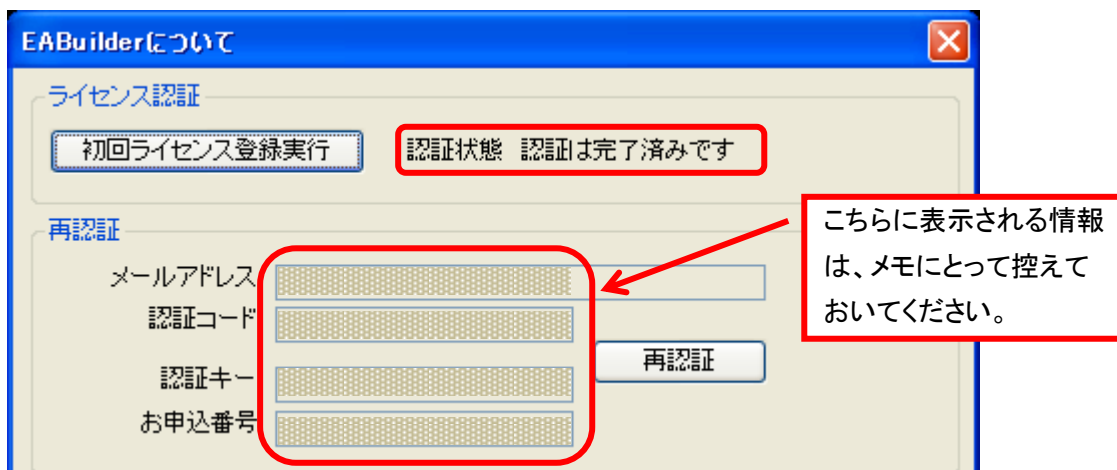
また認証完了後に EABSNS への招待状が設定したアドレスに送信されますので、メールアドレスの入力間違いにご注意ください。

フリーメールなどをご使用の場合、招待メールが迷惑メールフォルダに入ることが多数報告されています。招待メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダを必ずご確認ください。



登録が完了すると、認証キーが自動発行され、「認証状態」が「認証は完了済みです」になり、各種機能が使用できるようになります。

発行された「認証キー」は再認証の際に必要なになりますので、必ず控えておいてください。



メタトレーダーについて

メタトレーダーは WindowsXP にしか正式に対応しておらず、Windows Vista 及び Windows 7 でも一応使用することはできますが、使用に際してさまざまな不具合があります。とりあえずの対応策として Windows Vista 及び Windows 7 で使用するにはインストールの際に、ProgramFiles 以外にインストールする必要があります。

また、WindowsXP の場合でも、通常使用するものとバックテスト専用のものを使い分ける必要がありますので、EABuilder を使用する前に、必ずメタトレーダーを新しくインストールしてください。

既にインストールしている場合でも、インストール先のフォルダを変更することにより複数のメタトレーダーをインストールすることが可能ですので問題ありません。

今回インストールしていただくのは FXDD のメタトレーダーになります。またインストールフォルダを指定しますので、必ず指定のフォルダにメタトレーダーをインストールしてください。

EABSNS では指定のフォルダに FXDD がインストールされていることを前提としてステップを進めていきます。それ以外のメタトレーダーを使用した場合のサポートは出来ない可能性がありますのでご注意ください。

メタトレーダーのダウンロード

<http://global.fxdd.com/jp/> に移動してください。

こちらのページの、「無料デモ口座」をクリックしてください。



UNITED STATES | WORLDWIDE
Select Language

ライブチャット | 契約 | プライバシー保護に関する規約 | リスクについて

メインページ | 為替取引ソフトウェア | トレーディングサービス | 為替取引ツール | ラーニングセンター | FXDD について

FXDD マルタ

- ✓ 最高レバレッジ400倍
- ✓ 両建て可能
- ✓ 信託保全あり
- ✓ マイクロ口座あり

FXDD マルタの利点

他社に負けない狭いスプレッド* - EUR/USDで2ピップ

FXの基礎

- ✓ 外国為替取引をする理由
- ✓ お近くのトレーニングセッションに参加する
- ✓ よくあるご質問
- ✓ FX初心者の方

デモ口座の開設

90日間のデモ口座開設ご希望の方はここをクリックしてください

Start Today

FOREX 初心者の方

はじめてFXを始められる方へのビギナーズガイド

詳細は

無料デモ口座

ライブ口座

入金方法

ロールオーバーレート

「METATRADER デモ申し込み」をクリックしてください。



FXDD
 マルタ金融庁(MFSA)投資サービスライセンスカテゴリ3、NO. IS/48817

ライブチャット | 英語

メインページ | **為替取引用ソフトウェア** | トレーディングサービス | 為替取引ツール | ラーニングセンター

プラットフォームの比較 | MetaTrader 4 | MTXTREME | FXDD トレーダー | FXDD AUTO | パワートレーダー

メインページ » 為替取引用ソフトウェア »

FX取引ソフト

90日間無料デモ口座お申し込みは今すぐ！

お客様のニーズにあわせた4つの取引システム - 2つの個人投資家用システム、機関投資家用システム、および完全自動化システムをご用意しています。

[プラットフォームの比較詳細はこちら](#)

FXDD MetaTrader 4

この個人投資家用プラットフォームは、インストールするファイル・サイズが小さい上に、豊富なチャート機能、さらには口座管理の力強い武器となるトレーディング・ストップ本設定できる機能などがございます。

METATRADER デモ 申し込み

申し込みの画面で各種項目を入力してください。

入力が完了しましたら、「同意して提出する」をクリックしてください。

METATRADER デモ口座お申し込み
 右の欄に必要事項をご記入いただきソフトウェアをダウンロードしてください。

* 名: Familyman

* Eメール: info@familymanforex.com

* 国名: Japan

* 姓: Forex

* Confirm Email: info@familymanforex.com

* 住所: 該当なし

* Phone Number: **Need Help?**
 81 5201 3940

国コード エリア 都市コード 電話番号

どのようにしてFXDDをお知りになりましたか?:
 Other

電話番号の頭の0を外して
 市外局番までを入力

FX... 外... ん。お... が適性... お客様ご自身で損失の上限を設定した取引を始めるようにご注意ください。

る可能性があり、全ての投資家の方に無条件に適用しているものではありません。多くの許容範囲など様々な観点からお客様ご自身が取引を開始されること... いたしますようお願いいたします。元本以上の損失をこうむる可能性があるため、

*注記: 下にあるボタンをクリックすることで上記の規約に同意することになります。

お客様のプライバシーをお守りします。弊社のプライバシー規約をお読みください。

同意し提出する

「Download MetaTrader4」をクリックしてください。

ダウンロードが始まりますので、デスクトップなどの自分のわかる場所に保存してください。



メインページ » 為替取引用ソフトウェア » メタトレーダー 4 - 為替取引用ソフトウェア »

メタトレーダー 4 ダウンロード



ようこそ!

MetaTraderがダウンロード. だ
参照ください [MetaTrader](#)に
あたってのポイント.

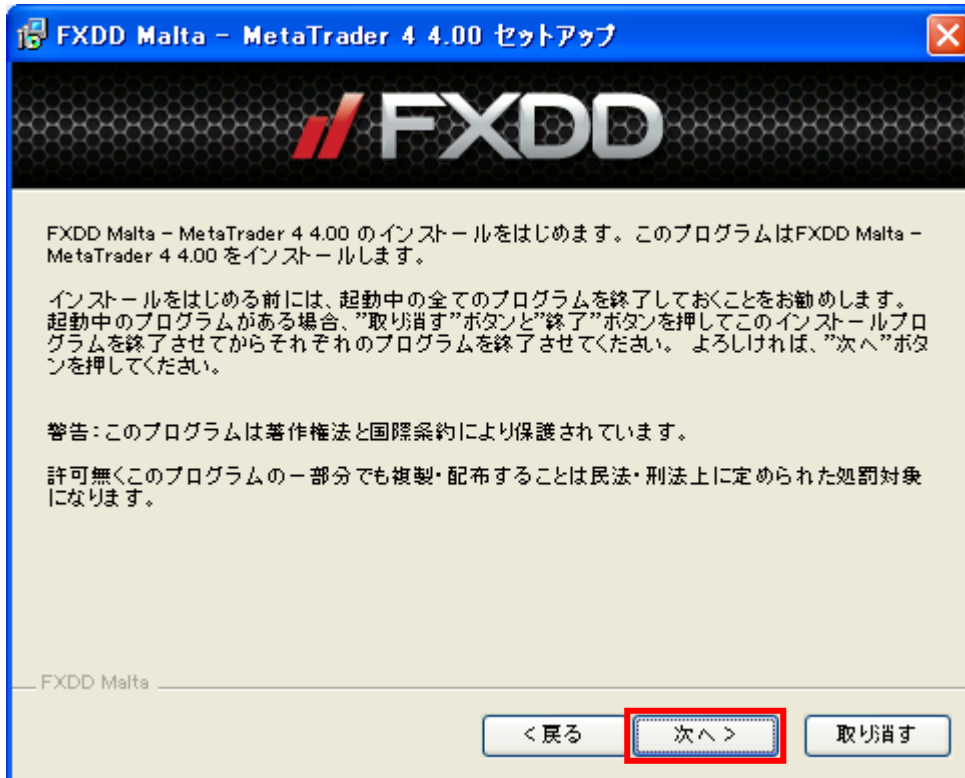
メタトレーダーのインストール

ダウンロードが終わりましたら、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行させます。

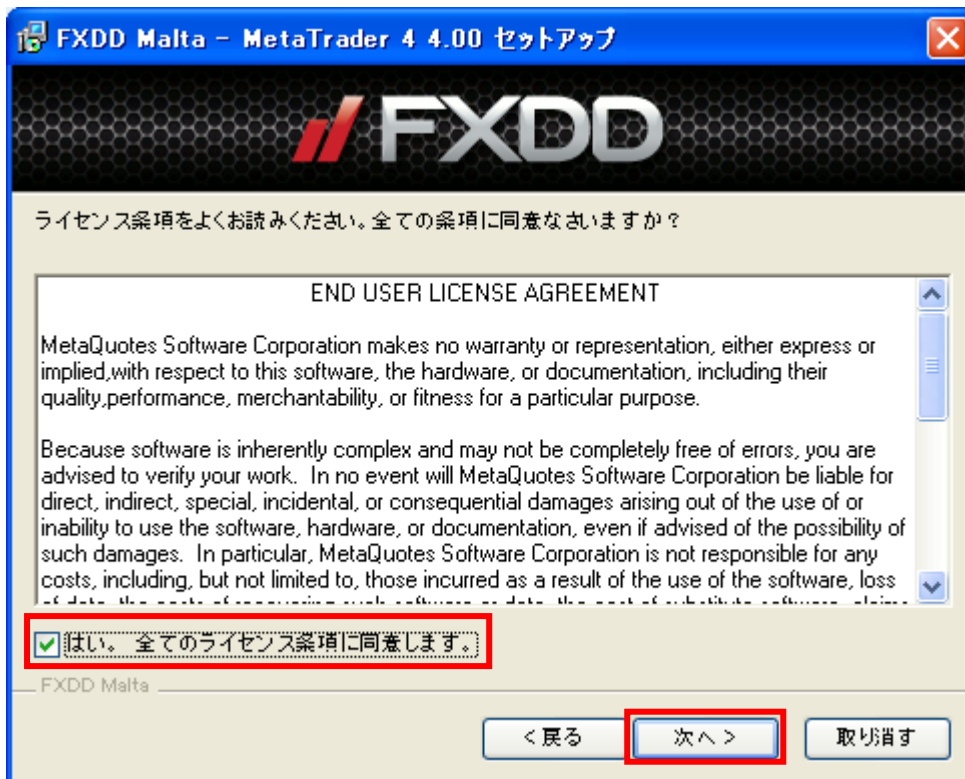
「次へ」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。



「はい」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



「インストール先」が「C:¥Program Files¥FXDD Malta – MetaTrader 4」になっていますので、「C:¥FXDD Malta – MetaTrader 4」に変更し、「次へ」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。



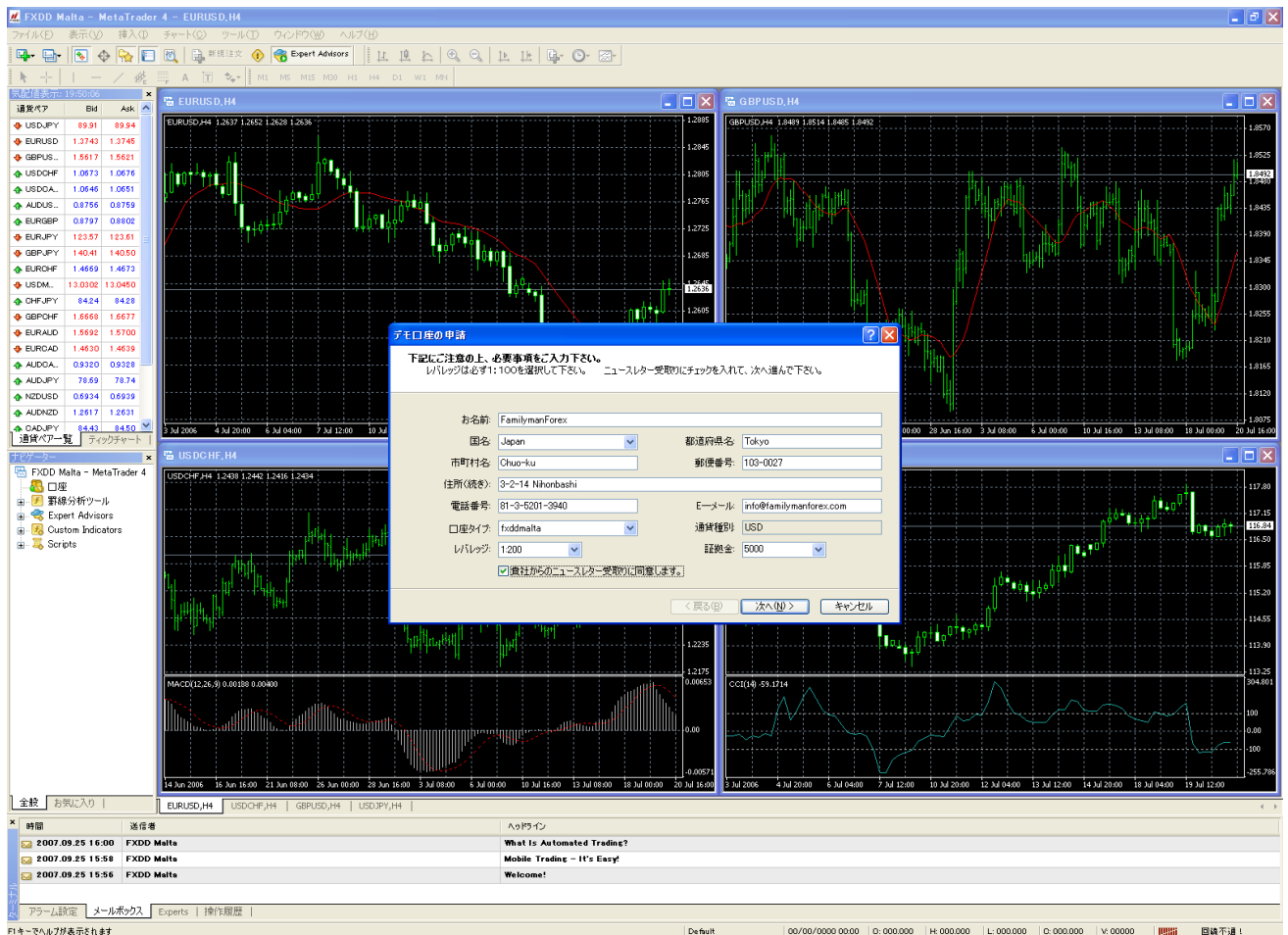
インストールが進みますので、終了まで待ちます。



終了しましたら「終了」をクリックしてください。



メタトレーダーが立ち上がります。



下図を参考にして、各項目にご自分のお名前や住所等の必要事項を入力してください。
 「貴社からのニュースレター受け取りに同意します。」にチェックを入れ、
 「次へ」をクリックします。

?
✕

下記にご注意の上、必要事項をご入力下さい。
 レバレッジは必ず1:100を選択して下さい。 ニュースレター受取りにチェックを入れて、次へ進んで下さい。

お名前:

国名:
都道府県名:

市町村名:
郵便番号:

住所(続き):

電話番号:
Eメール:

□座タイプ:
通貨種別:

レバレッジ:
証拠金:

貴社からのニュースレター受取りに同意します。

次へ(N) >

「次へ」をクリックします。

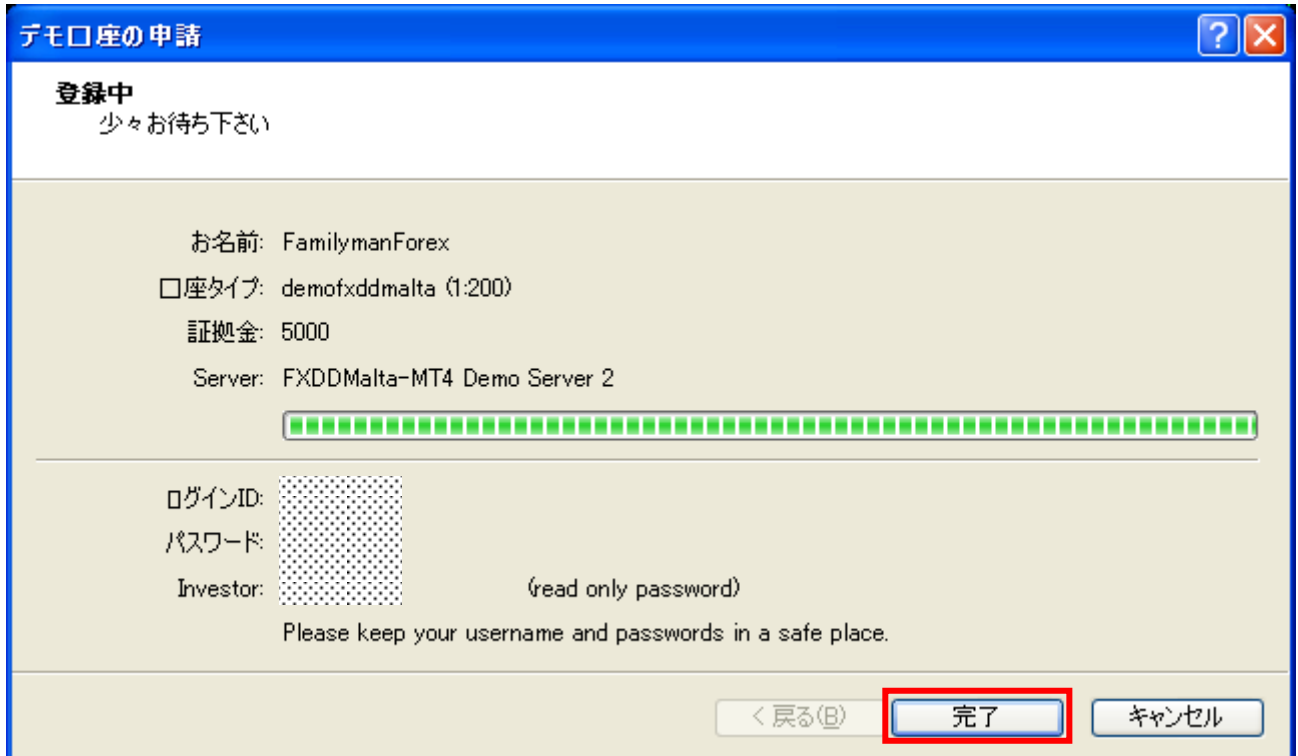
?
✕

取引用サーバー
 取引用サーバーを選択して下さい:

アドレス	会社名	Ping
FXDDMalta-MT4 Demo Server 2	FXDD Malta	156 ms

次へ(N) >

「完了」をクリックします。



デモ口座の申請

登録中
少々お待ち下さい

お名前: FamilymanForex
 口座タイプ: demofxddmalta (1:200)
 証拠金: 5000
 Server: FXDDMalta-MT4 Demo Server 2

ログインID: [masked]
 パスワード: [masked]
 Investor: [masked] (read only password)

Please keep your username and passwords in a safe place.

< 戻る(B) **完了** キャンセル

「メールボックス」に「Registration」が来れば、登録完了です。

時間	送信者	ヘッドライン
2010.07.18 06:34	FXDD Malta	Registration
2007.09.25 16:00	FXDD Malta	What Is Automated Trading?
2007.09.25 15:58	FXDD Malta	Mobile Trading - It's Easy!
2007.09.25 15:56	FXDD Malta	Welcome!

取引 | 口座履歴 | アラーム設定 | **メールボックス** | Experts | 操作履歴

バックテスト用メタトレーダーについて

EABuilder および EABSNS では「C:\FXDD Malta - MetaTrader 4」にインストールしていただいたメタトレーダーを使用することを前提として進めていきます。また、このメタトレーダーはバックテストに使用するため、チャートのバーの表示本数を増やす設定をして使用いたしますので、通常のものよりも動作が確実に遅くなります。

通常使用されるメタトレーダーは他のフォルダにインストールし、バックテスト用とは分けてお使いください。

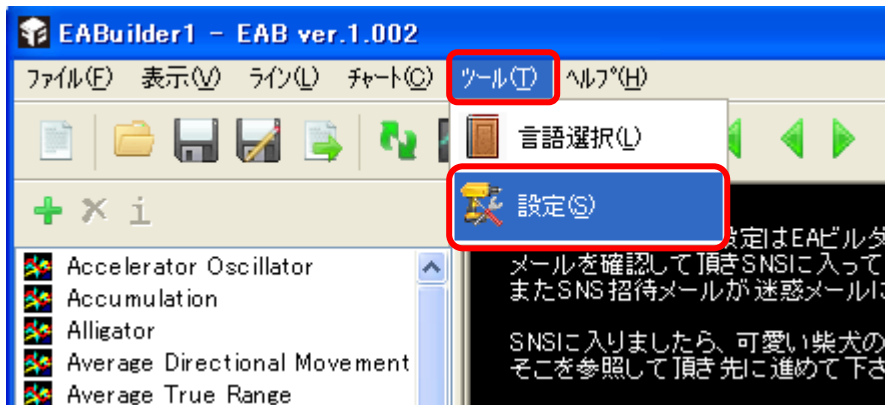
フォルダ設定

EAB 起動時にフォルダの設定が完了していない場合、チャートウィンドウに下図のようなメッセージが表示されます。

次にEABビルダーの設定はEABビルダー専用のSNSで説明していますので、メールを確認して頂きSNSに入ってください。
またSNS招待メールが迷惑メールに入る事が多いので注意して下さい。

SNSに入りましたら、可愛い柴犬の写真でEAB動画マニュアルがあるので、そこを参照して頂き先に進めて下さい。

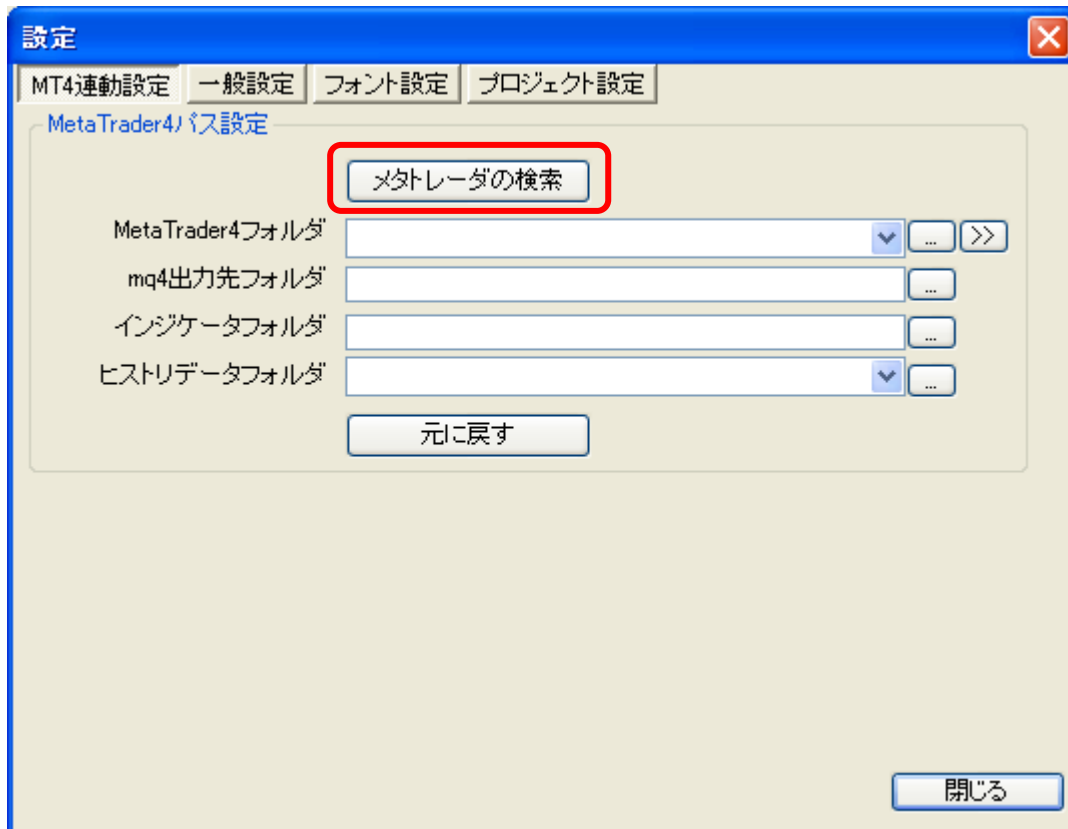
「ツール」メニューから「設定」を開きます。



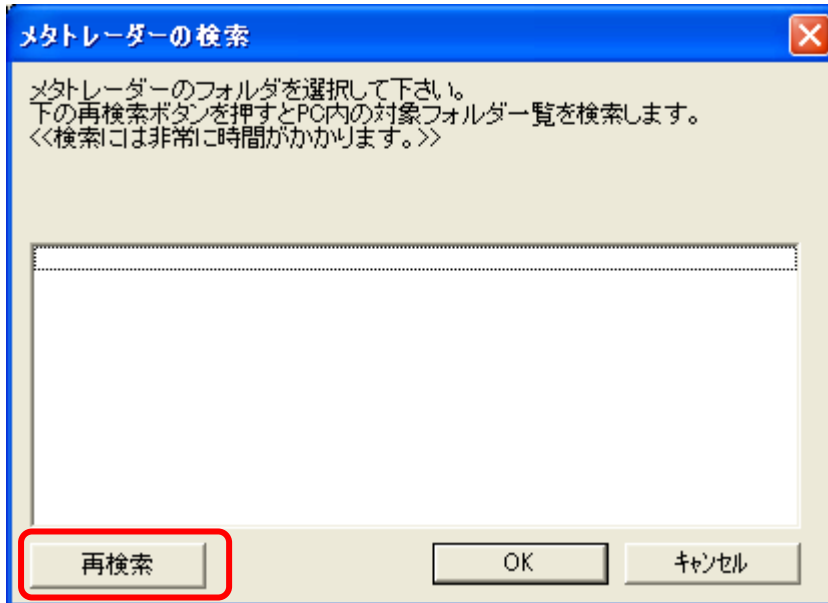
「設定」の「MT4 連動設定」が開きます。

最初にメタトレーダーのフォルダを設定します。

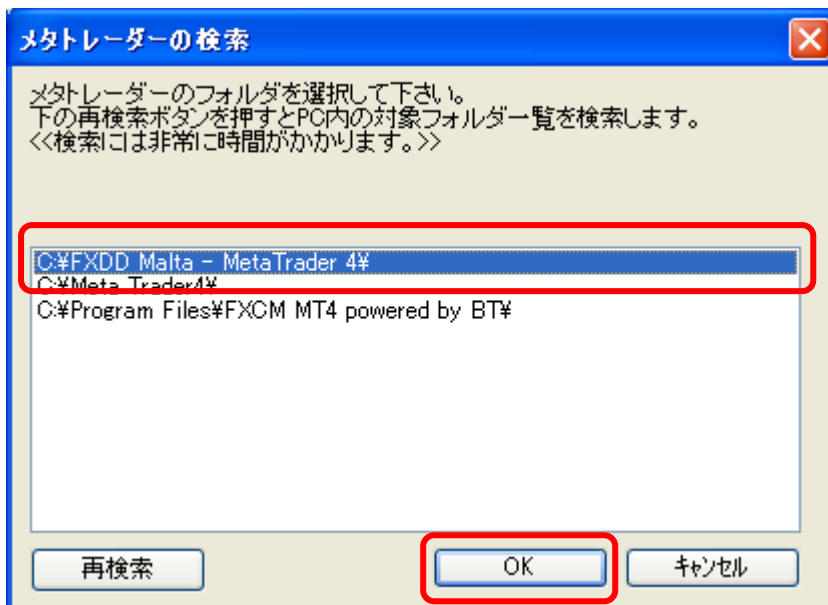
「メタトレーダーの検索」ボタンをクリックすると、検索画面が出てきます。



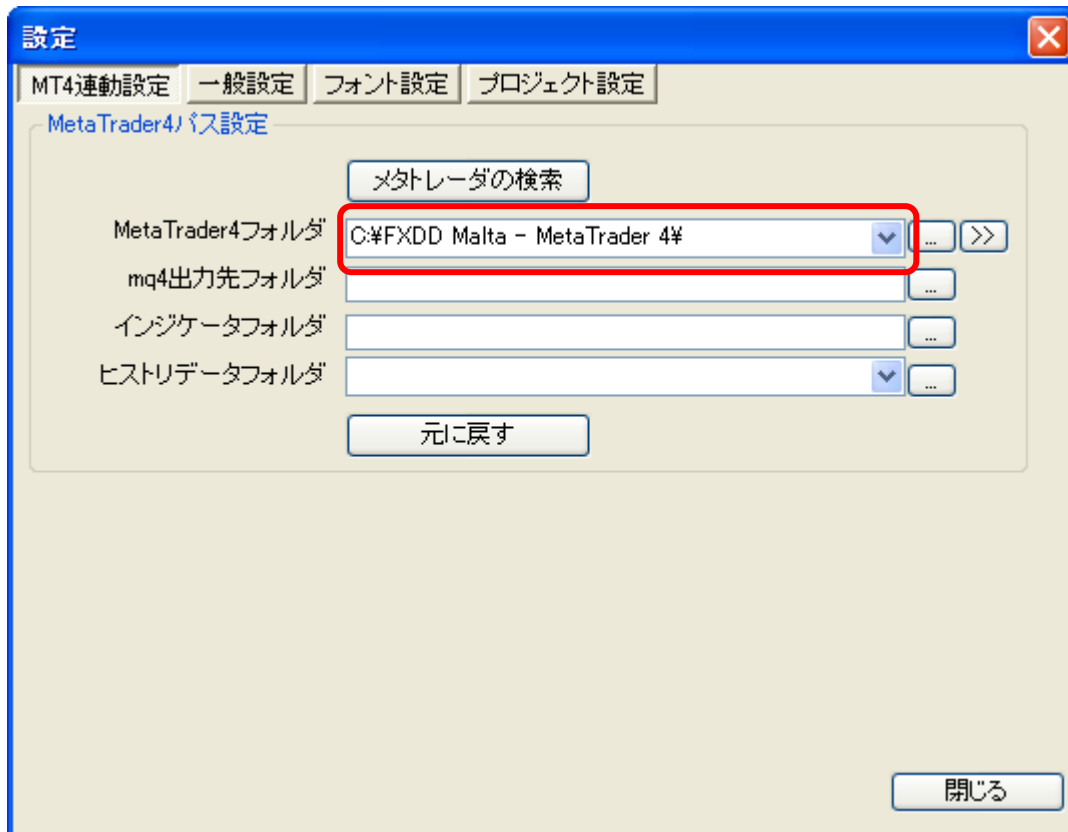
「再検索」をクリックすると検索が始まり、検索結果が表示されます。




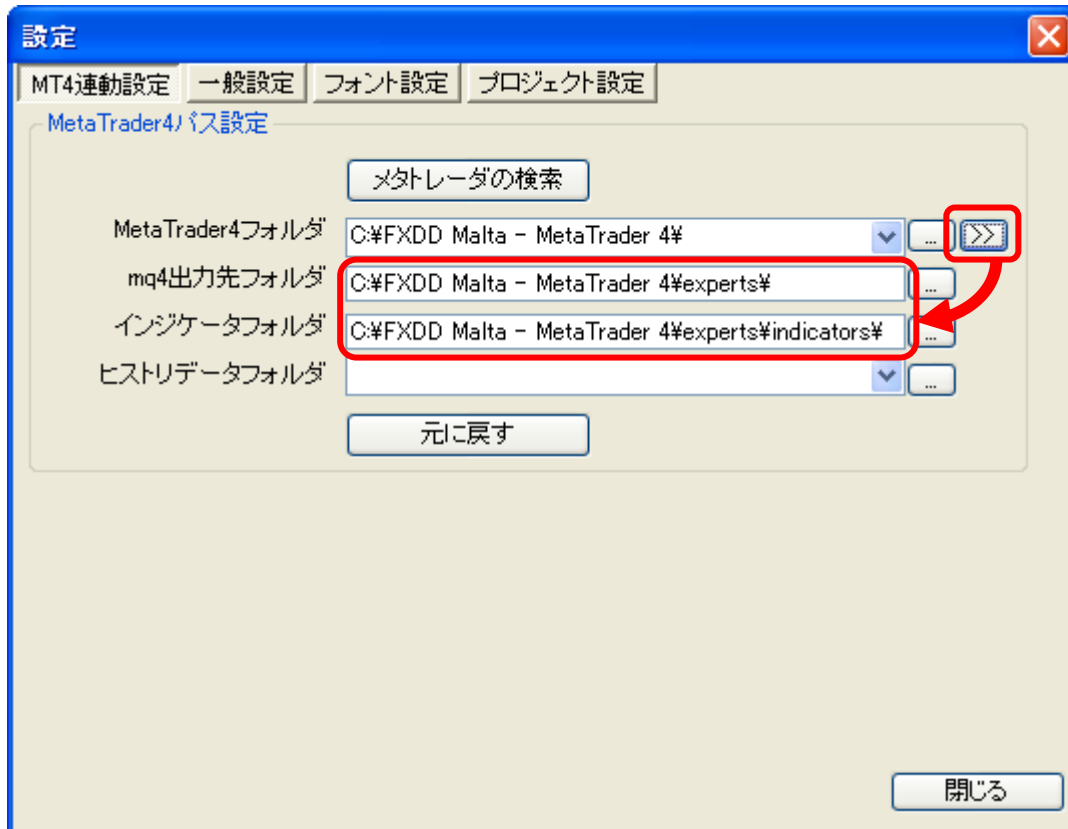
EAB で使用したいメタトレーダーを選択してから OK をクリックします。
今回は先ほどインストールした FXDD のメタトレーダーを選択します。




MetaTrader4 フォルダに先ほど選択したフォルダが選択されます。



次に  をクリックすると、mq4 出力先フォルダとインジケータフォルダが自動的に設定されます。

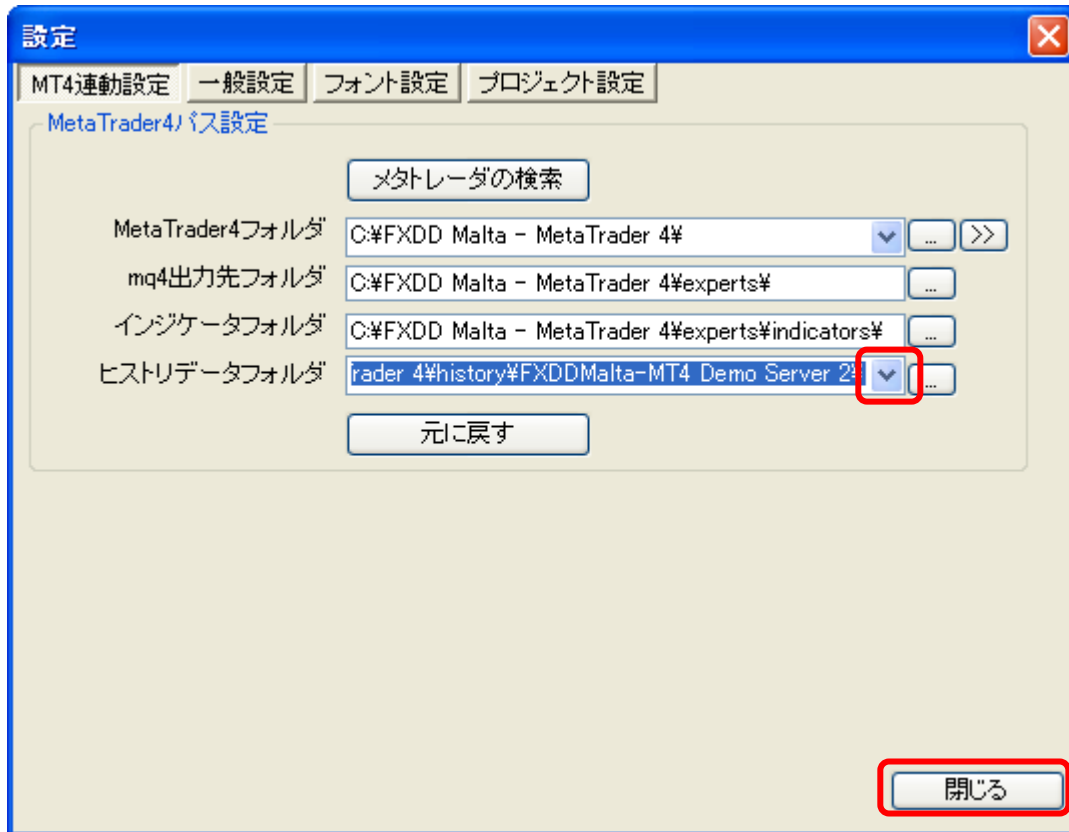


次に履歴データフォルダの  をクリックすると、使用できる履歴フォルダの一覧が表示されるので、使用する履歴フォルダを選択します。今回の設定では1つしか表示されないの、表示されたフォルダを設定します。

EABuilder ではここで設定したフォルダ内の通貨ペアのデータを読み込んで表示します。

設定したフォルダ内に存在しない通貨ペアや時間足のデータは表示できません。

履歴データはメタトレーダーを起動し、チャートを表示することによって作成されますので、EABuilder で表示させたい通貨ペアがある場合は、メタトレーダーで一度表示させてから再起動し、その後でEABuilder を再起動してみてください。



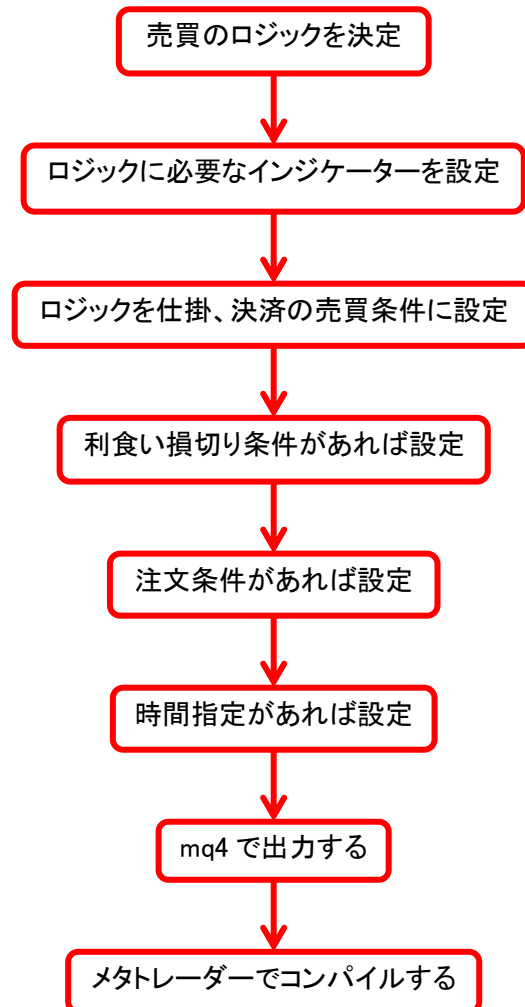
設定が終わったら「閉じる」をクリックして終了してください。

EA 作成手順

基本的な EA の作成の手順は、まず最初に売買のロジックを決めます。

どういう条件で仕掛けるのか、どういう条件で決済するのかが決まっていないと EA は作成できません。

それから利食い損切りのルールがあれば設定し、時間設定があるなら設定する、という流れで作業します。

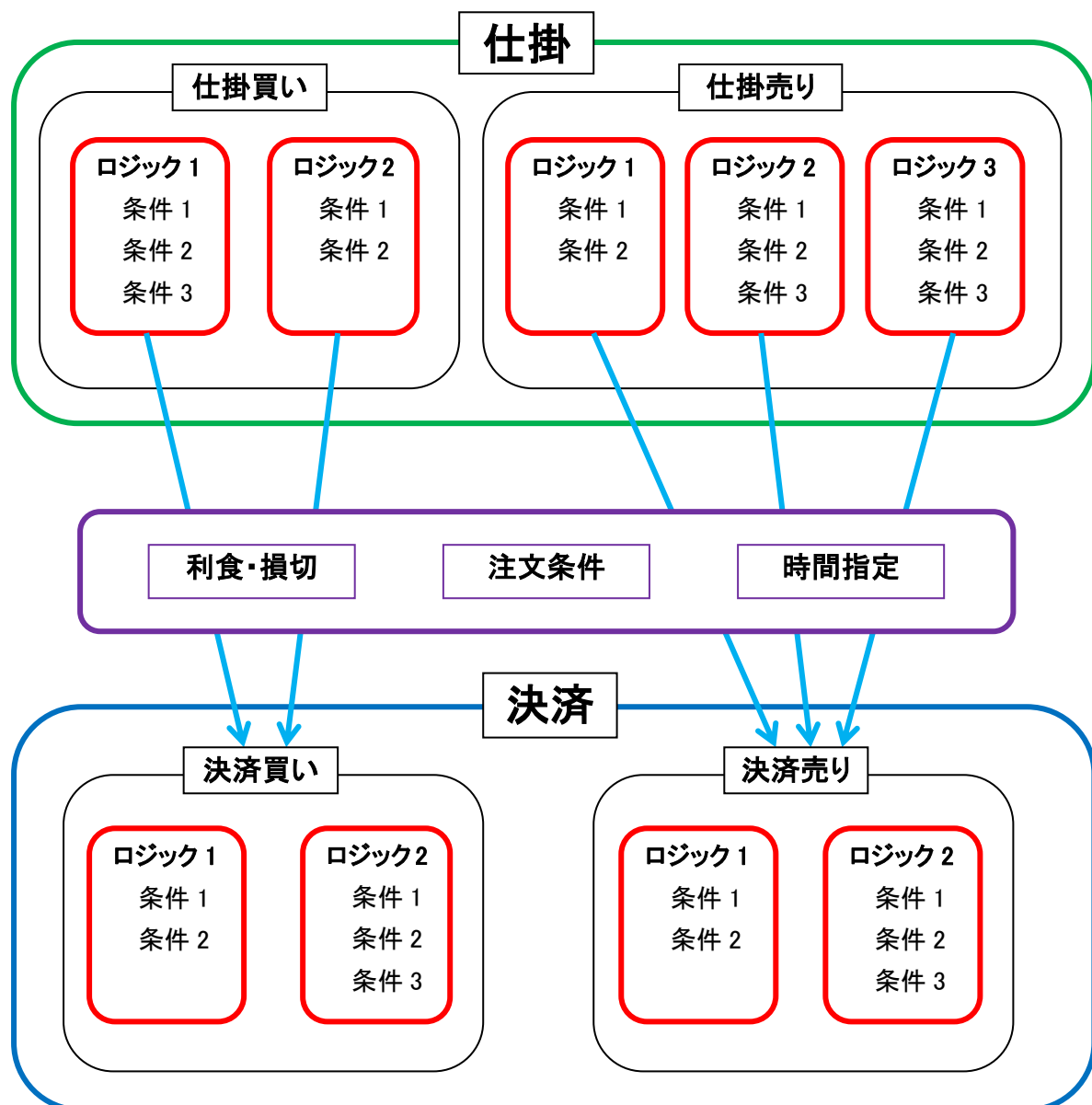


ロジックの概念

仕掛では個別のロジックの条件で設定した条件をすべてを満たした時に、そのロジックで仕掛けます。ロジックはすべて個別のものとして働き、一番早く条件を満たしたロジックで仕掛けます。注文条件や、時間指定に設定があるものは、その設定により仕掛の際に制限をかけることができます。

決済も仕掛と同様に個別のロジックの条件で設定したものを全て満たした時に、そのロジックで決済します。ロジックはすべて個別のものとして働き、一番早く条件を満たしたロジックで決済します。また、利食・損切に設定があるものは、決済条件を満たさなくても利食・損切条件で決済します。決済条件、利食・損切条件の一番早く条件を満たした条件で決済します。

買いを仕掛けるには「仕掛買い」、売りを仕掛けるには「仕掛売り」を使用し、買いポジを決済するには「決済買い」、売りポジを決済するには「決済売り」を使用します。



ファイルの種類

EABuilder に関連するファイルには、eexp、mq4、ex4 の 3 種類のファイルがあります。

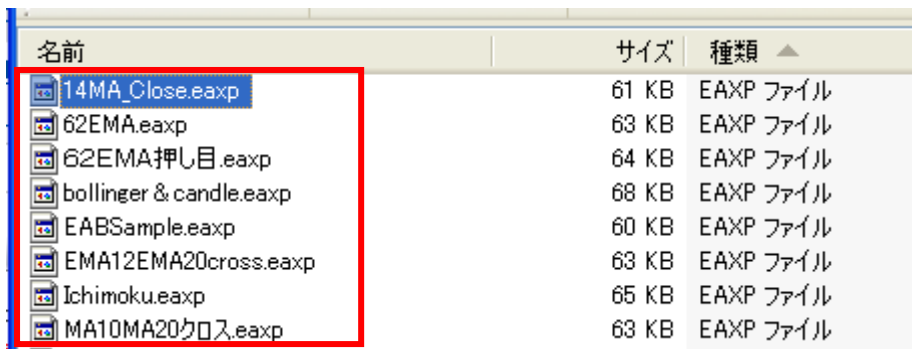
eexp ファイル

EABuilder のロジックや条件などの設定を保存しておくプロジェクトファイルです。

ファイルの拡張子は、eexp となります。

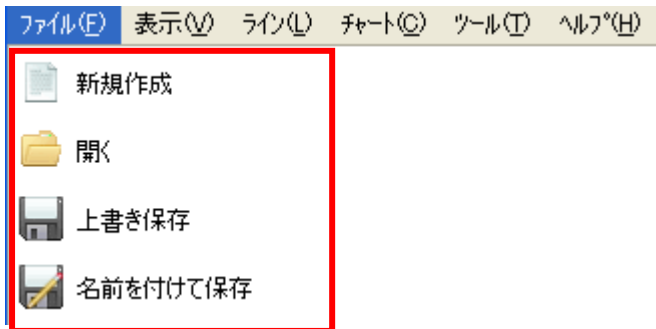
マイドキュメントやデスクトップなどに自分の分かりやすい場所に保存して管理してください。

eexp ファイルは EABuilder 専用のファイルですので、メタトレーダーで読み込ませることはできません。



名前	サイズ	種類
14MA_Close.eexp	61 KB	EAXP ファイル
62EMA.eexp	63 KB	EAXP ファイル
62EMA押し目.eexp	64 KB	EAXP ファイル
bollinger & candle.eexp	68 KB	EAXP ファイル
EABSample.eexp	60 KB	EAXP ファイル
EMA12EMA20cross.eexp	63 KB	EAXP ファイル
Ichimoku.eexp	65 KB	EAXP ファイル
MA10MA20クロス.eexp	63 KB	EAXP ファイル

EABuilder のファイルメニューの赤枠で囲ったメニューで、新規作成や開いたり保存したりします。



mq4 ファイル

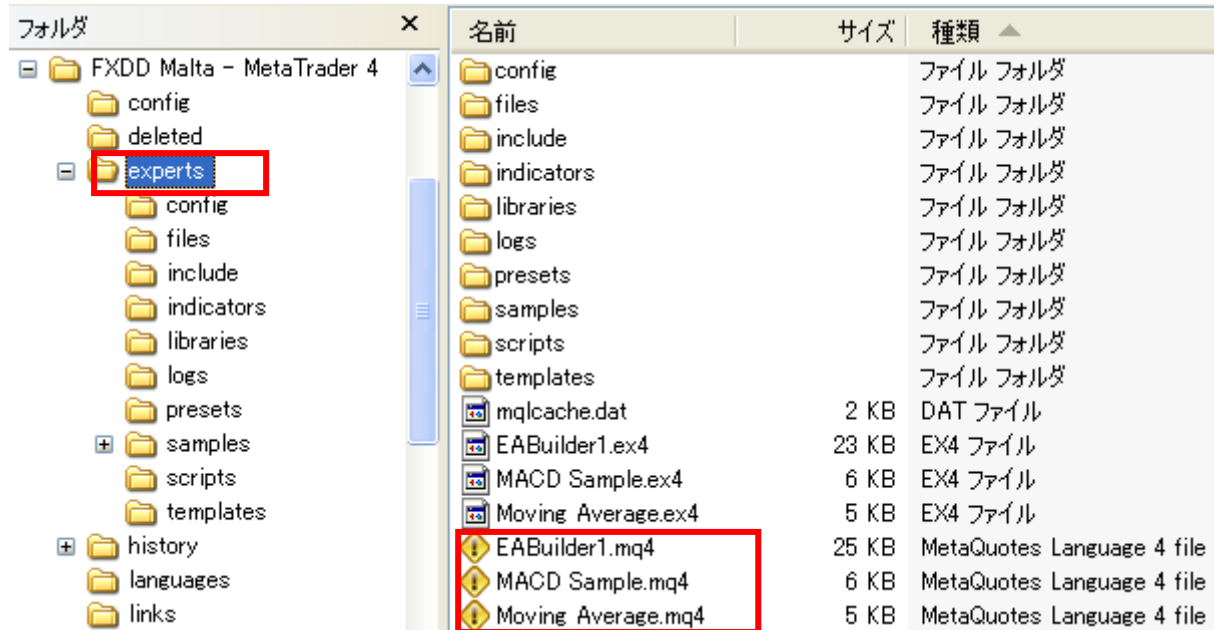
メタトレーダーで自動売買するための、EA のソースファイルです。

EABuilder は mq4 ファイルを作成することを目的としています。

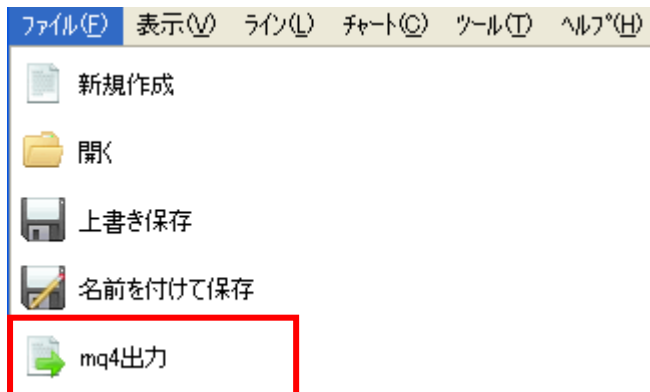
使用するメタトレーダーの experts フォルダに入れて使します。

mq4 ファイルはメタトレーダーの専用ファイルなので EABuilder に読み込ませることはできません。

メタエディターでコンパイルすることにより ex4 ファイルに変換することができます。



EABuilder のファイルメニューの「mq4 出力」で、mq4 ファイルを出力します。



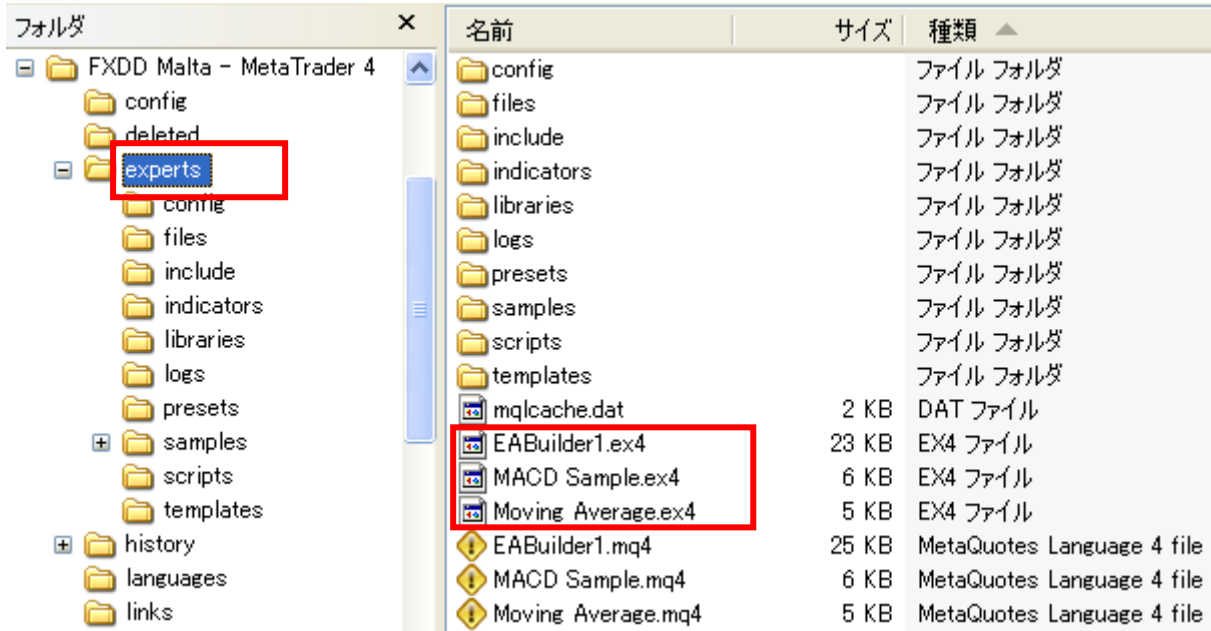
ex4 ファイル

メタトレーダーで自動売買するためのファイルです。

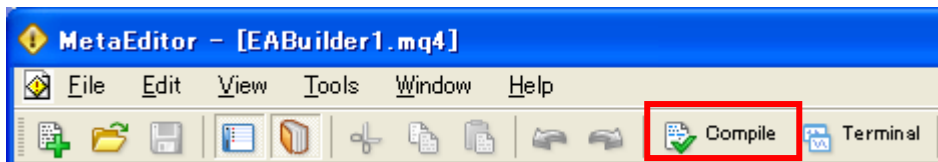
ex4 ファイルは mq4 ファイルをメタエディターで変換したものです。

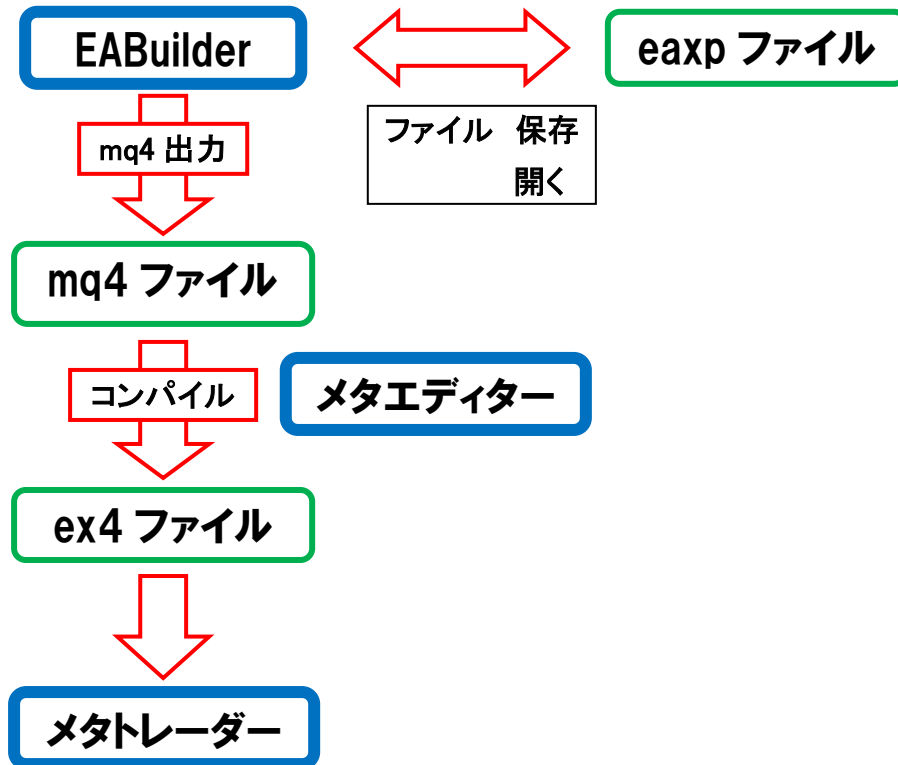
使用するメタトレーダーの experts フォルダに入れます。

ex4 ファイルはメタトレーダーの専用ファイルなので EABuilder に読み込ませることはできません。



メタエディターで mq4 を読み込ませ、Compile ボタンをクリックしてコンパイルして ex4 ファイルを作成します。



EABuilder に関連するファイル

コンパイル手順

コンパイルというのは EABuilder で mq4 ファイルを出力した後に、メタトレーダーで使用できる ex4 ファイル形式に変換する作業のことです。

コンパイル作業はメタトレーダーに付属のメタエディターを使用します。

メタトレーダーの「ツール」の「MetaQuotes Language Editor」をクリックするとメタエディターが起動します。

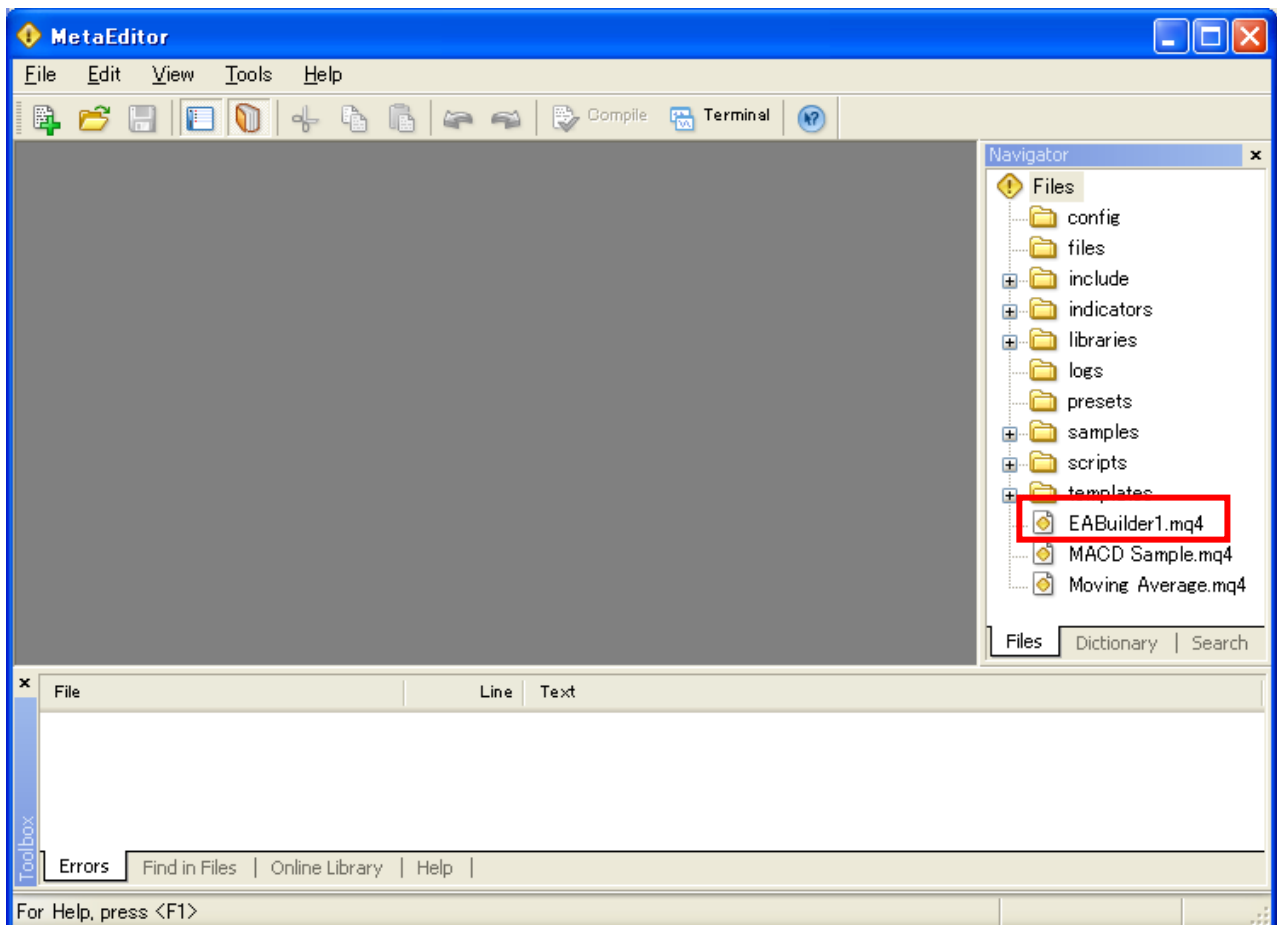


右の Navigator に mq4 ファイルの一覧が出て、その中に作成した mq4 ファイルが確認できます。

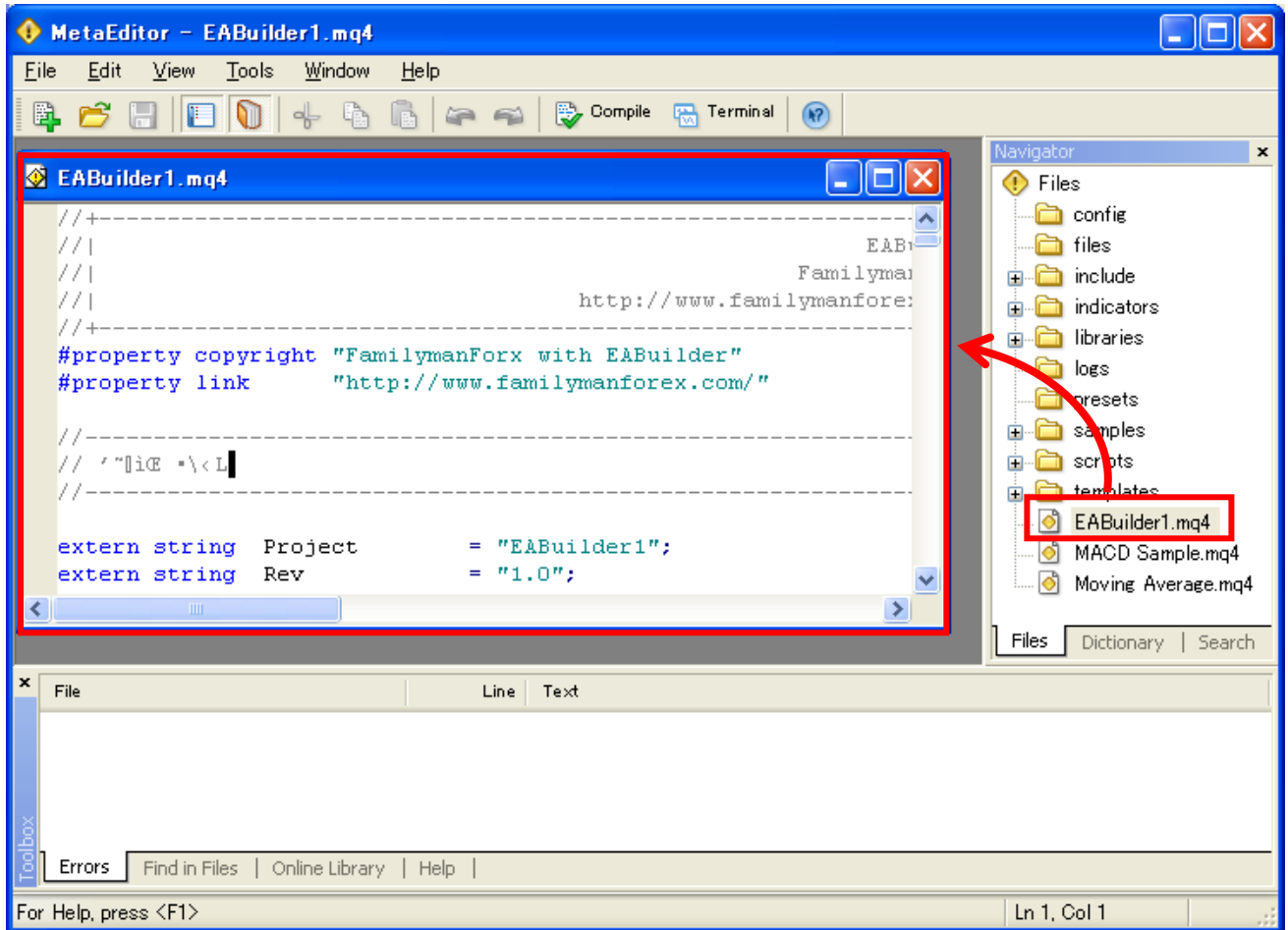
今回は、EABuilder1 という名前で作成しました。

メタエディターを立ち上げたまま EABuilder で mq4 を出力しても一覧には追加されません。

その場合は、メタエディターを再起動することにより追加されます。



コンパイルしたいファイルをダブルクリックするとファイル内容が表示されます。

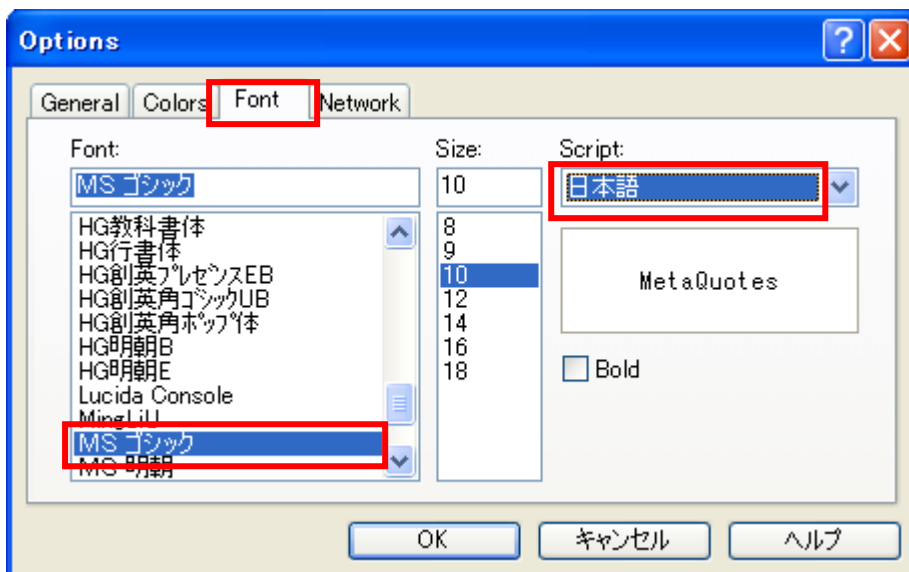


メタエディターのデフォルトでは英字フォントになっていますので、日本語の部分は文字化けしています。

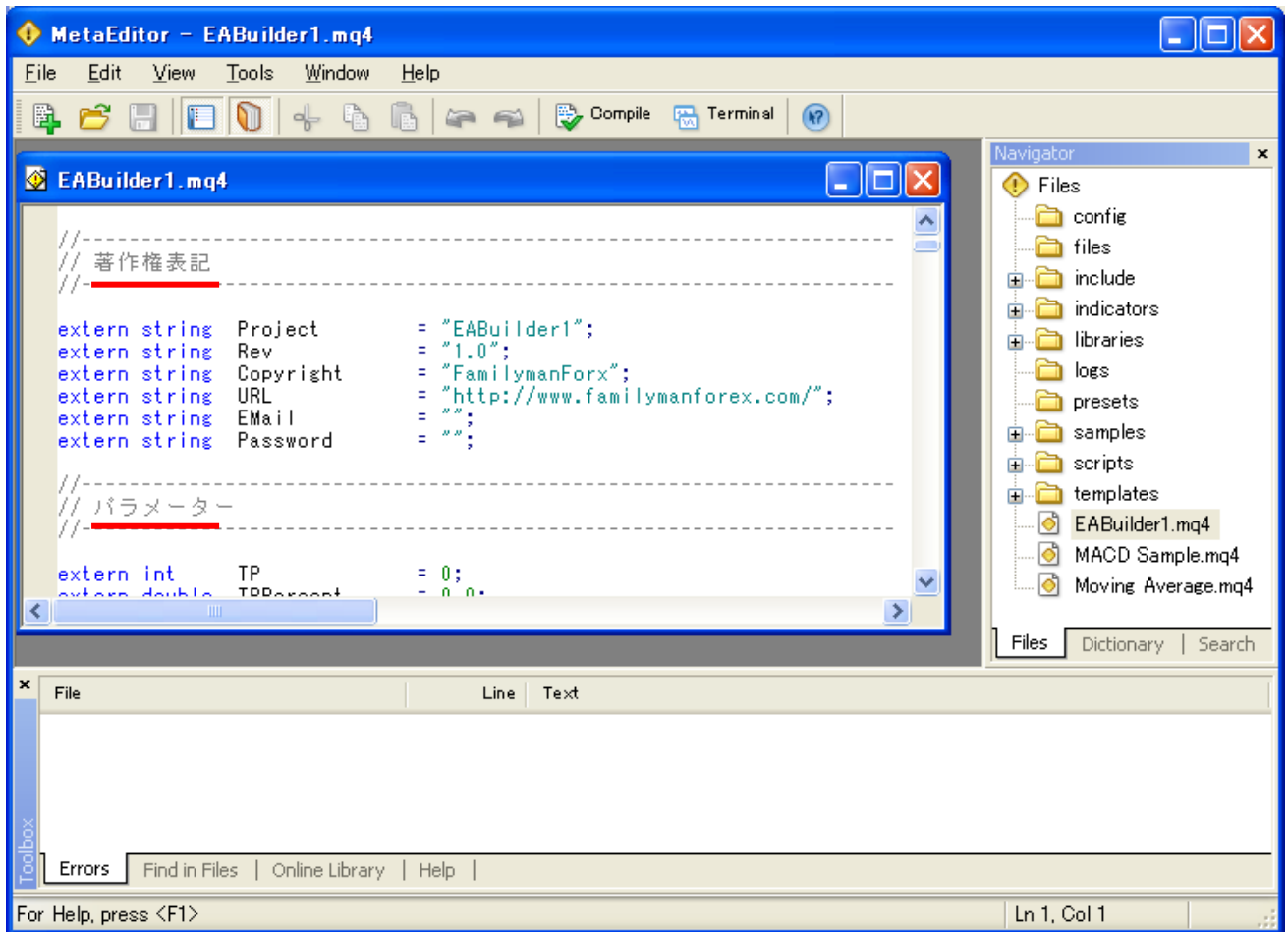
日本語を表示させるにはフォントを日本語に設定する必要があります。

「Tools」 → 「Options」 → 「Font」タブでフォントを設定します。

Fontを「MS ゴシック」に、Scriptを「日本語」に設定します。



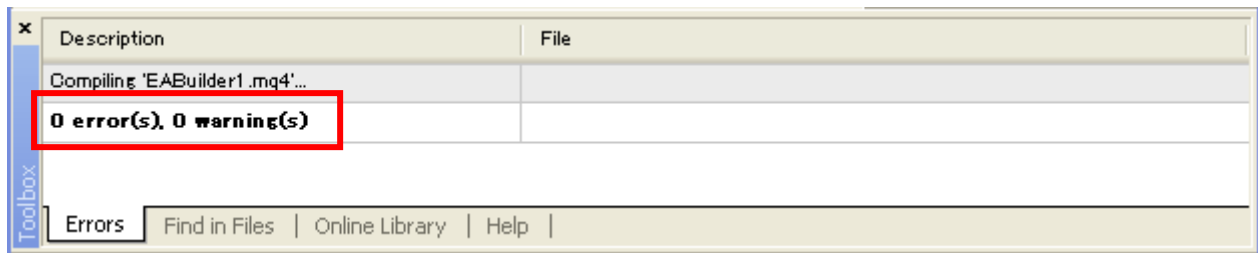
設定が完了すると、日本語の表記になります。



この mq4 ファイルをコンパイルする場合は「File」の「Compile」をクリックします。



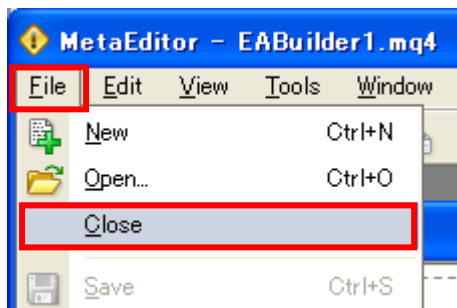
コンパイルに成功すると、下の Toolbox に、コンパイルの結果が出ます。
「0 error(s), 0 warning(s)」の表示だとエラーなしで、コンパイル成功です。



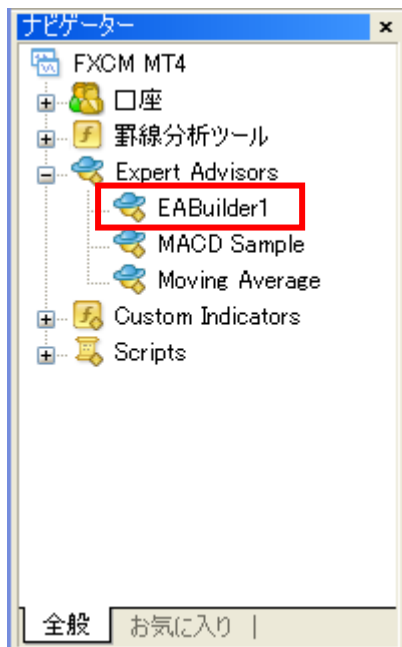
コンパイル後には開いた mq4 ファイルを必ず閉じてください。

開いたままですと、EABuilder で修正をかけて出力しても修正前の mq4 ファイルが残った状態となり、修正が反映されません。閉じる前の mq4 ファイルが残ったままで、再度コンパイルしてしまうと、残っていた mq4 ファイルで上書きされてしまいます。

ファイルを閉じるには、「File」の「Close」をクリックしてください。

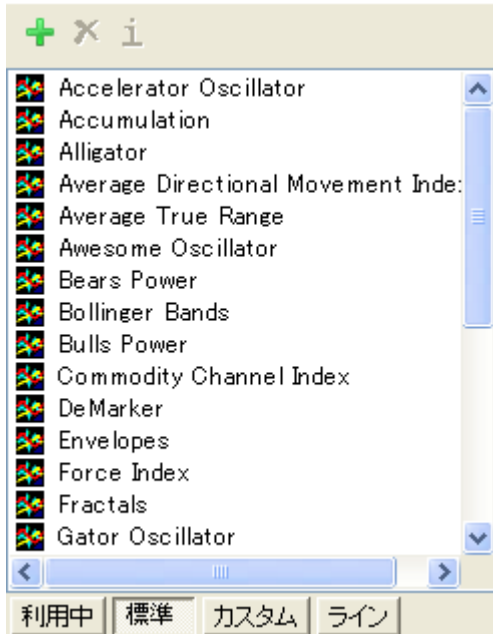


コンパイルが成功すると、メタトレーダーのナビゲーターの Expert Advisors に追加されます。



インジケータ設定方法

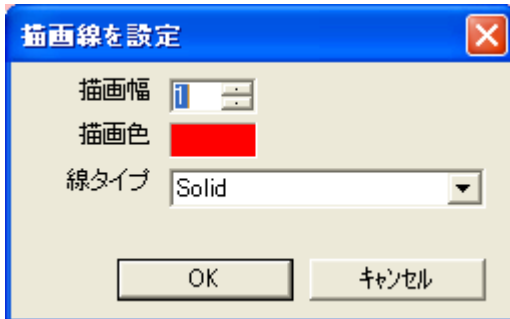
標準インジケータを設定するにはインジケータウインドウの標準をクリックし一覧を表示させ、使用したいインジケータをダブルクリックします。



設定項目はインジケータによって異なりますが、共通しているものに関して説明します。

描画線:

EAB のチャートに描画する際の線の色と幅、線種の設定です。



描画幅:

線の幅を設定します。

描画色:

線の色を設定します。



線タイプ:

線のタイプを設定します。Solid、Dot、Dashed の 3 種類があります。

適用通貨ペア:

通常は Current に設定します。

Current は EA をセットしたチャートの通貨ペアで EA を使用します。

通貨ペアを指定するのは GBPJPY のチャートで EA を使用した際に、GBPUSD のインジケータを使用したいなどの場合に設定します。

Current 以外に設定すると、EAB のチャートには表示されません。

また、簡易テスターで使用することも出来ません。

適用期間:

通常は Current に設定します。

Current は EA をセットした時間足で EA を使用します。

期間を指定するのは 5 分足のチャートで EA を使用した際に、

15 分足のインジケータを使用したいなどの場合に設定します。

Current 以外に設定すると、EAB のチャートには表示されません。

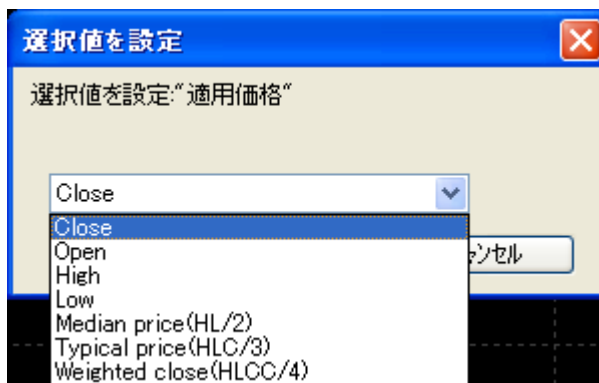
また、簡易テスターで使用することも出来ません。

期間(Period):

インジケータを計算するローソク足の本数の設定です。

適用価格:

インジケータで使用する価格を設定します。



Close : 終値

Open : 始値

High : 高値

Low : 安値

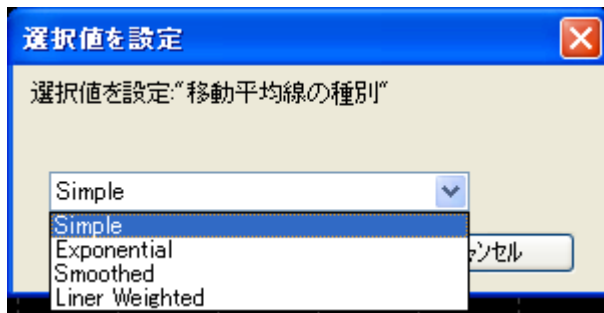
Midian Price(HL/2) : (高値 + 安値) ÷ 2

Typical Price(HLC/3) : (高値 + 安値 + 終値) ÷ 3

Weighted close(HLCC/4) : (高値 + 安値 + 終値 + 終値) ÷ 4

移動平均線の種別:

移動平均線を計算する際の種類です。



Simple : 単純移動平均 (SMA)

Exponential : 指数移動平均 (EMA)

Smoothed : 平滑移動平均 (SMMA)

Liner Weighted : 加重移動平均 (LWMA)

表示移動:

インジケータを過去や未来の方向に移動する場合に設定します。

＋の数値でインジケータが設定した足の数だけ未来方向に先行します。

－の数値でインジケータが設定した足の数だけ過去方向に遅行します。

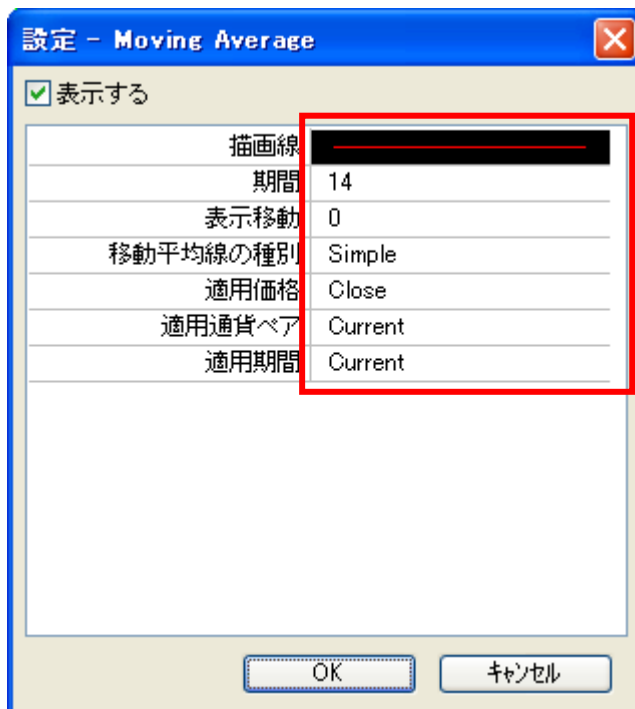
インジケータ設定例

20 本 EMA を設定する場合

インジケータウインドウの標準の Moving Average をダブルクリックすると設定がダイアログが開きます。

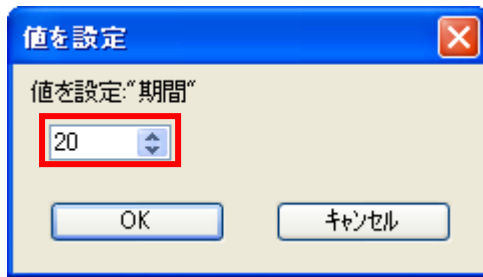
初期値はこのようになっています。

各種設定を行うには設定項目の入力欄をダブルクリックすると、設定項目のダイアログが出ます。

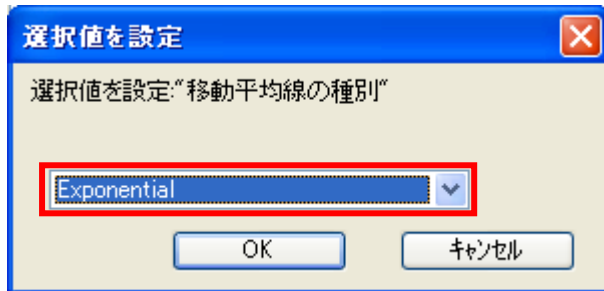


設定したい項目をダブルクリックすると、項目に応じたダイアログが開きます。

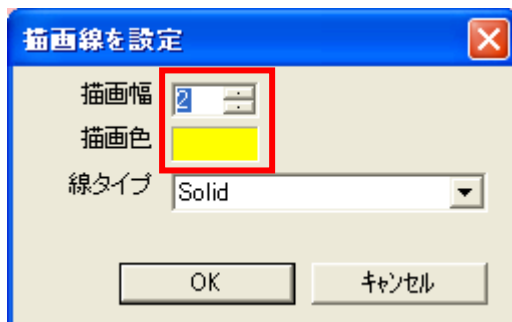
期間を 20 に設定します。



移動平均線の種別を、Exponential にします。



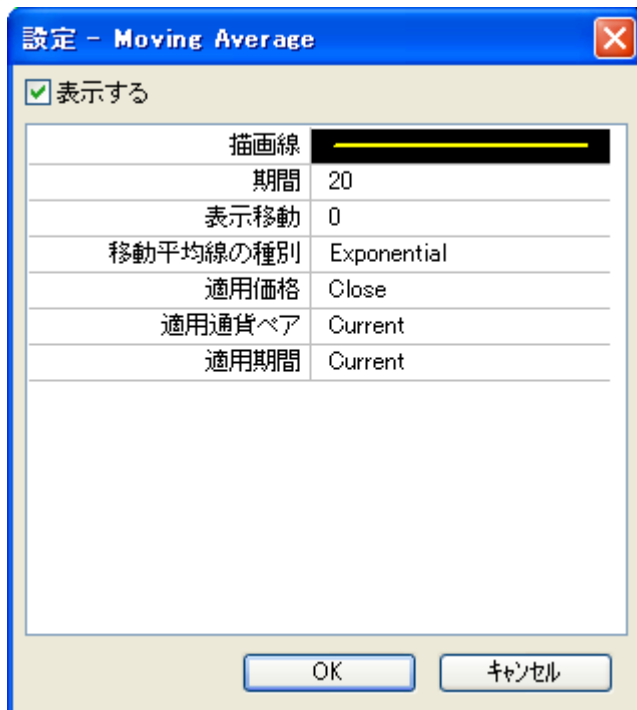
チャートに描画させる色を変更する場合は描画線をダブルクリックします。
ここでは、描画線を 2 に描画色を黄色に設定しました。



設定後の状態はこのようになります。

「表示する」のチェックを外すと、インジケータを表示しません。

インジケータを多数設定しチャートが見にくくなってしまった場合に表示を減らすときに使用します。



設定がよろしければ OK をクリックするとチャートにインジケータが描画されます。



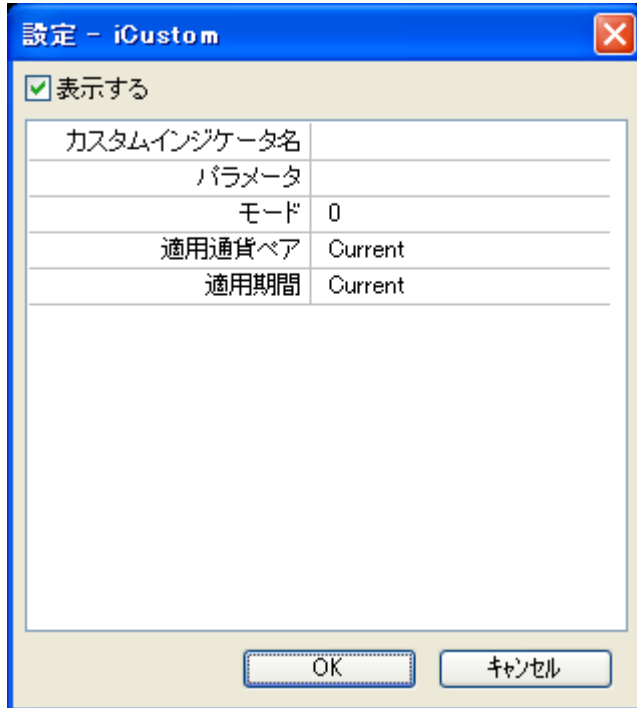
また、「インジケータを表示する」のチェックを外すと、インジケータを表示しません。

インジケータを多数設定しチャートが見にくくなってしまった場合に表示を減らすときに使用します。

カスタムインジケータ設定方法

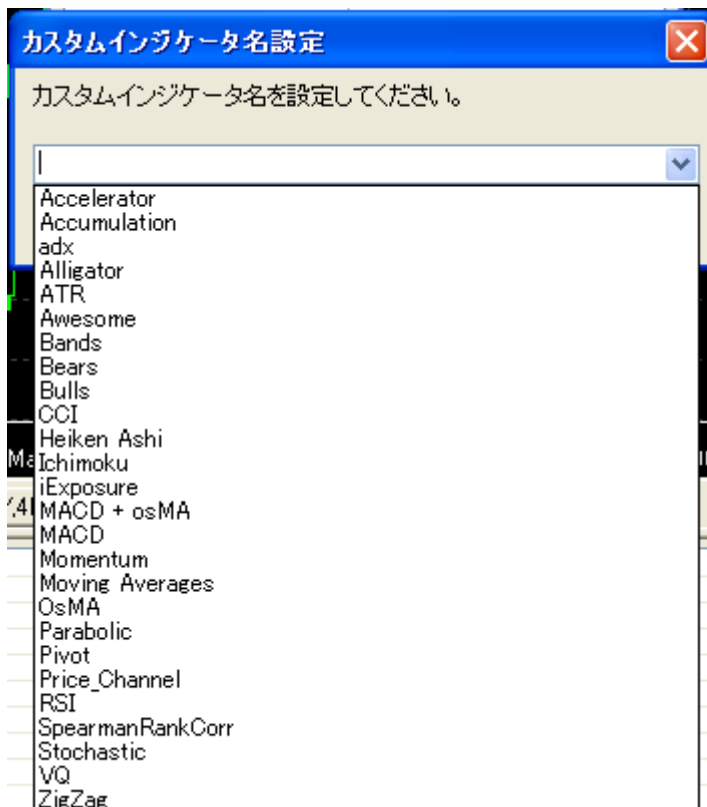
こちらの例で使用している、MACD + osMA や Pivot 等のカスタムインジケータはネット上から入手したもので、説明の都合上使用しています。標準状態のメタトレーダーには入っていないのでご注意ください。

インジケータウィンドウのカスタムの iCustom をダブルクリックします。

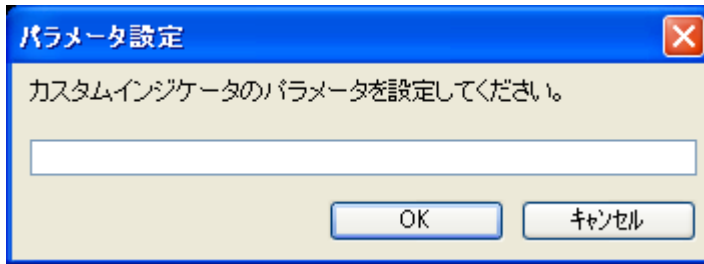


カスタムインジケータ名には、カスタムインジケータの名前を設定してください。

▼をクリックすると、設定したフォルダ内のカスタムインジケータの一覧が表示されます。



パラメータにはカスタムインジケータのパラメータを設定します。

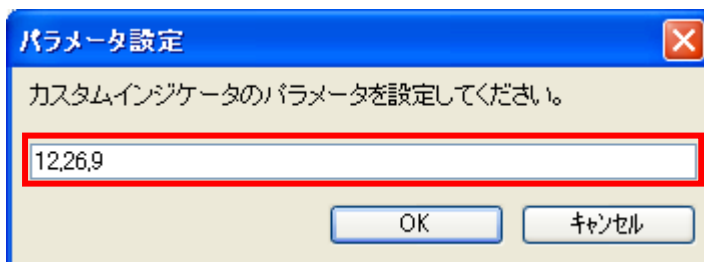


メタトレーダーでカスタムインジケータを使用するときに、「パラメーターの入力」タブの Value の値を、
, (カンマ)区切りで入力します。

下図の MACD + osMA の場合なら、12,26,9 を入力します。

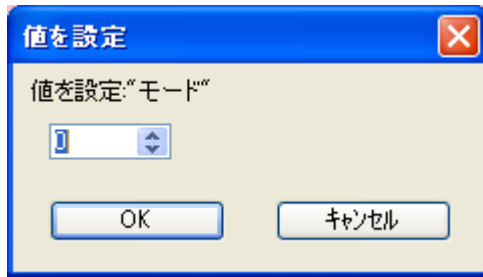


下図のように入力します。



モードの設定をします。

これはカスタムインジケーターのチャートに描画する番号です。

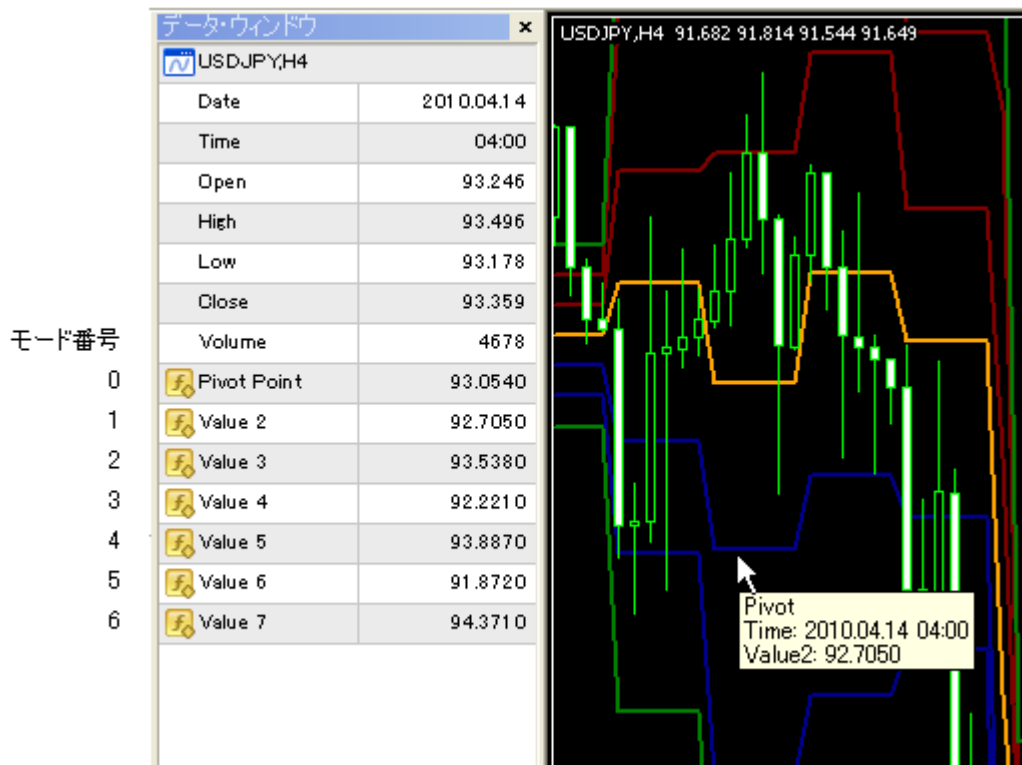


一般的にメタトレーダーのデータウィンドウを見たときに、

一番上の値が0で7までの番号が振ってあります。

どのラインがモードの何番に対応するかは自分で調べる必要があります。

カスタムインジケーターで描画されているラインや矢印などにマウスカーソルを合わせると、表示が出ますので確認できます。



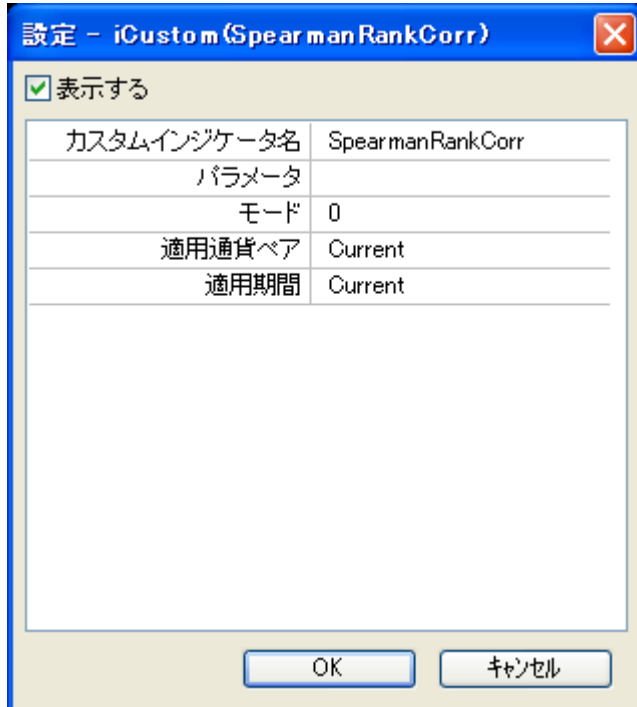
カスタムインジケーターは EAB のチャートでは表示できません。

また、簡易テスターで使用することも出来ません。

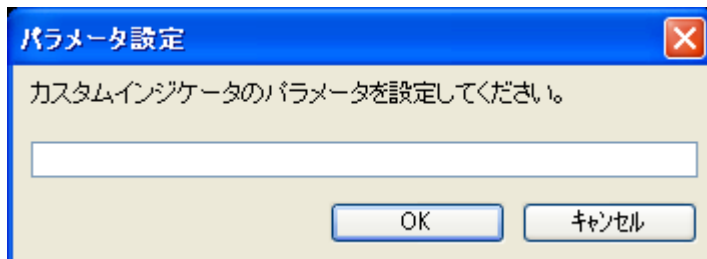
カスタムインジケータ設定例 1

SpearmanRankCorr を設定する場合

インジケータウインドウのカスタムの iCustom(SpearmanRankCorr)をダブルクリックします。
初期値はこのようになっています。



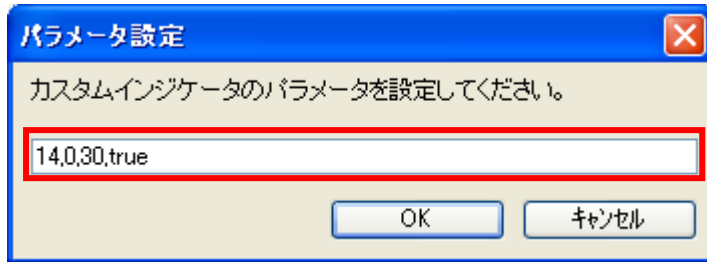
期間をダブルクリックすると設定ダイアログが出ますので必要な値を設定します。



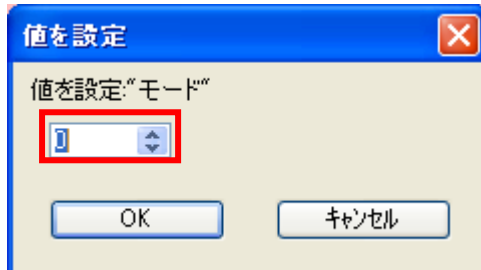
メタトレーダーで SpearmanRankCorr のパラメータを確認します。



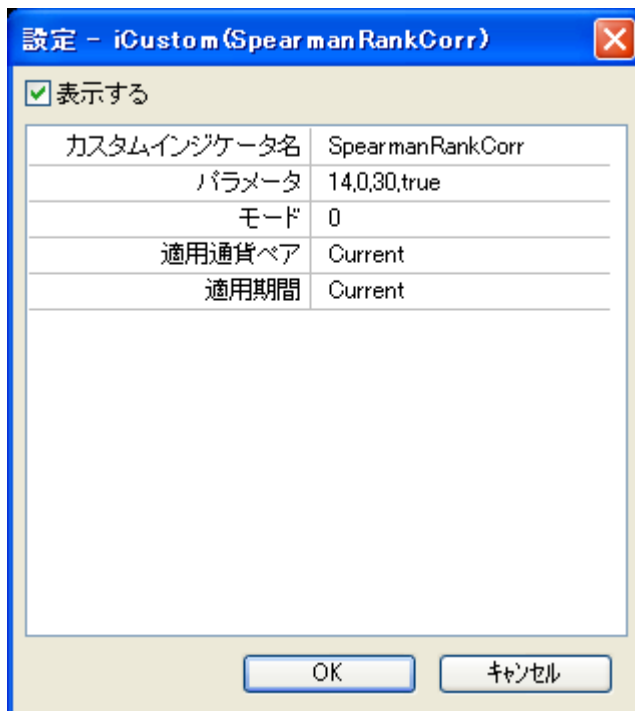
14,0,30,true を入力します。



モードの設定をします。



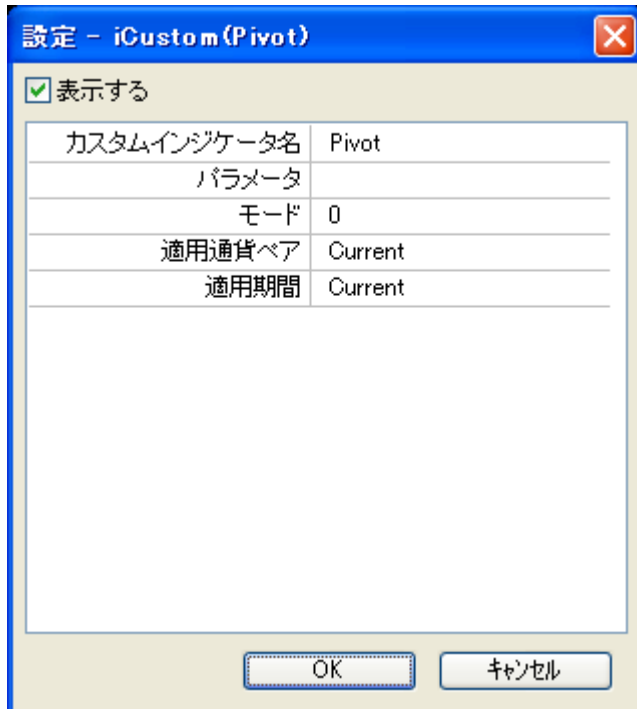
設定後はこのようになります。



カスタムインジケータ—設定例 2

Pivot を設定する場合

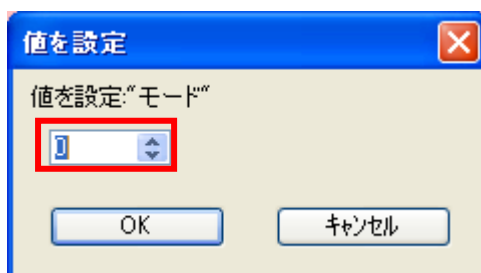
インジケータウインドウのカスタムの iCustom(Pivot)をダブルクリックします。
初期値はこのようになっています。

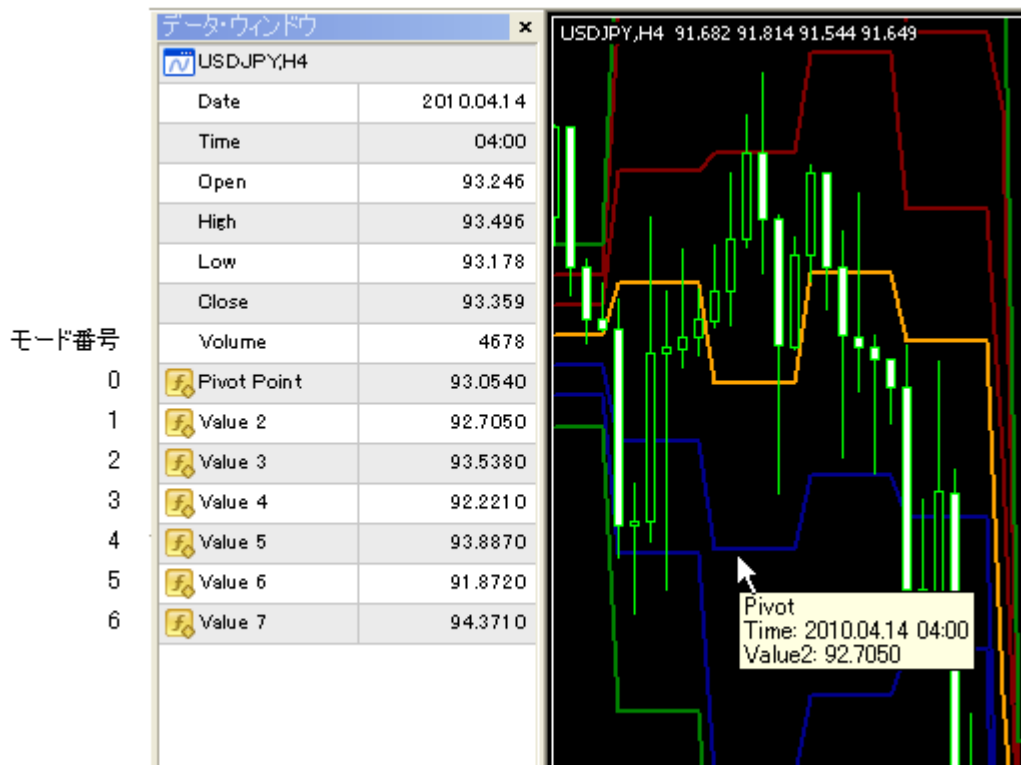


Pivot はパラメータの設定がありませんので、EAB のパラメータは設定しません。



モードの設定をします。





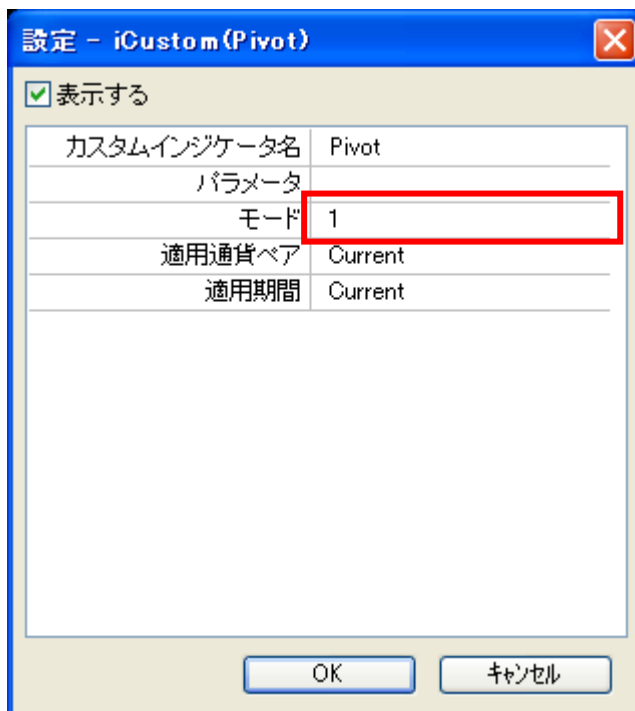
データウィンドウを出してインジケーターのデータを確認します。

モード番号が一番上が 0 番から始まります。

使用したいラインにマウスのポインタをあてるとそのラインのデータが出てきます。

この場合は Value2 となっていますので、モードは 1 番になります。

設定後はこのようになります。



EAB ウィンドウ説明

EAB は大きく分けて3つの部分に分かれています。

インジケータウィンドウ

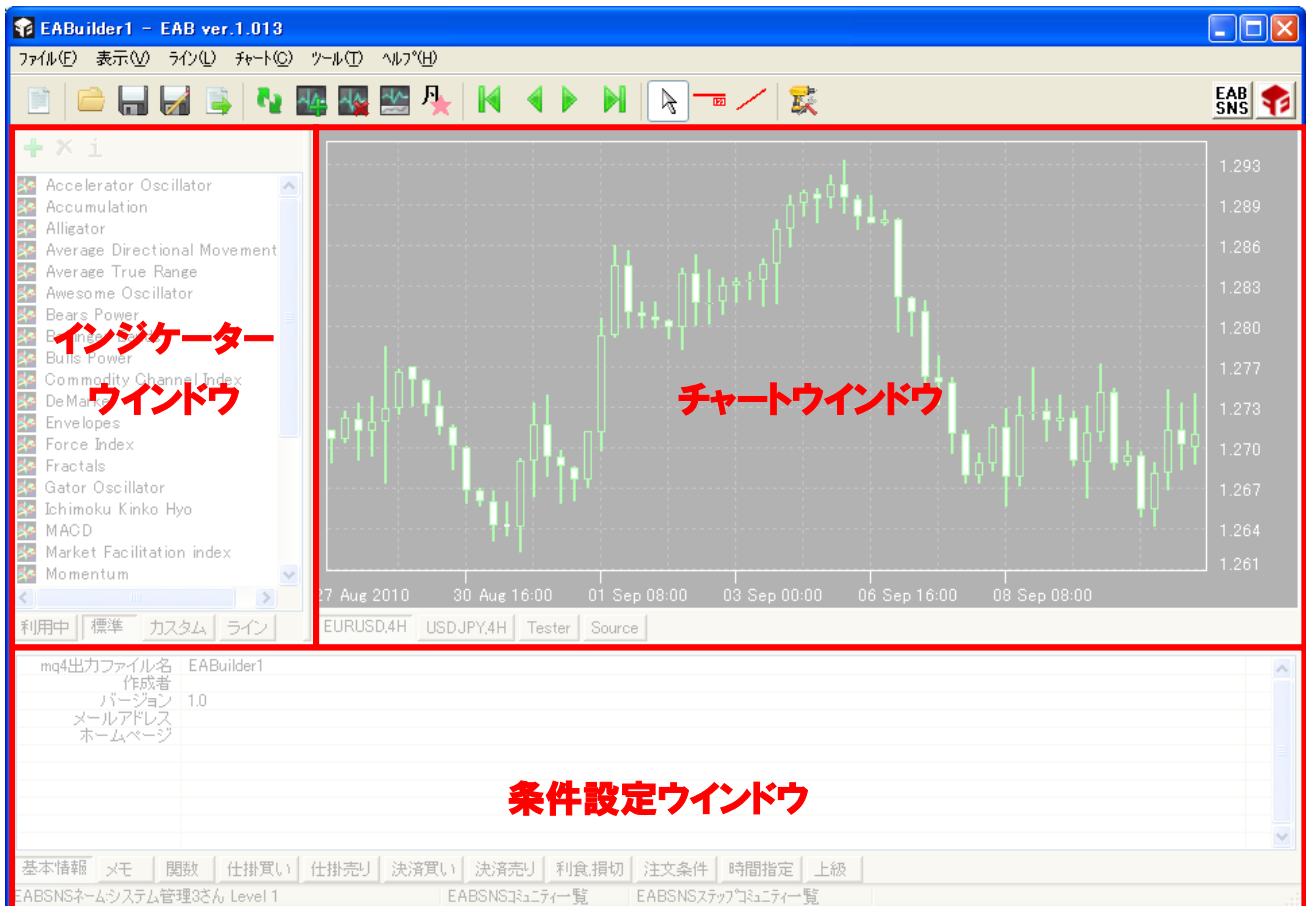
インジケータの設定を行います。

チャートウィンドウ

タブの切り替えによりチャート、簡易テスター、ソースを表示します。

条件設定ウィンドウ

各種条件を設定します。



インジケータウィンドウ

チャートウィンドウ

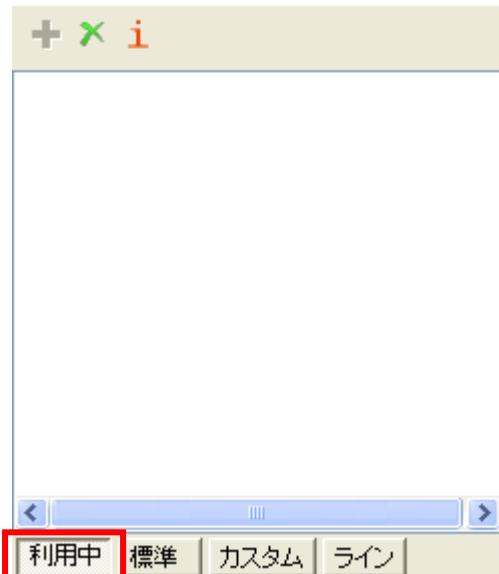
条件設定ウィンドウ


mq4出力ファイル名	作成者	バージョン	メールアドレス	ホームページ
EABuilder1		1.0		

インジケータウインドウ

利用中

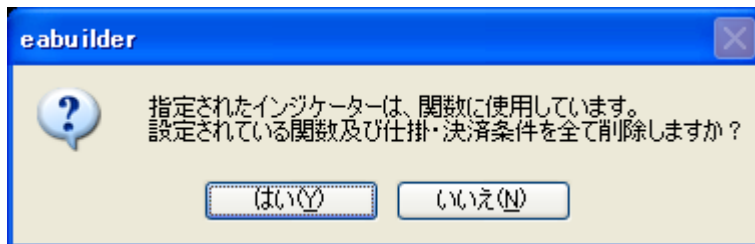
利用中のインジケータの一覧が表示されます。




 選択したインジケータを削除します。


関数や仕掛・決済条件に設定がある場合は、削除時に確認画面が出ます。


「はい」をクリックすると、設定した関数や仕掛・決済条件が全て削除されますのでご注意ください。




 選択したインジケータの設定を変更します。

また、名前の部分をダブルクリックすることでも設定値を変更できます

 の部分をダブルクリックすると表示の ON、OFF を切り替えます。

 表示されている状態

 表示されていない状態

標準

ここでインジケータの追加を行います。



追加したいインジケータをダブルクリックするか、

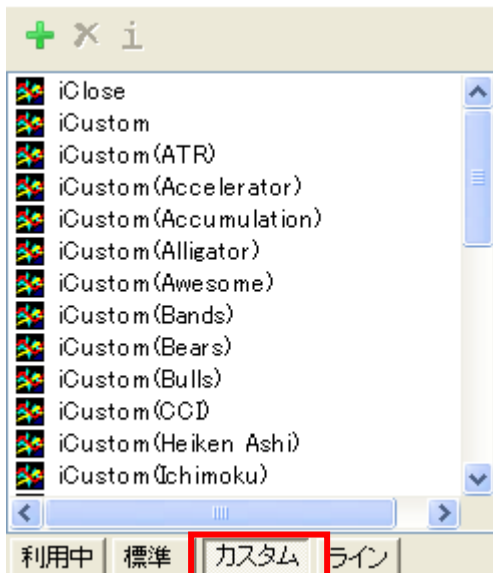
追加したいインジケータを選択し **+** をクリックすると

インジケータの設定ダイアログが出ますのでパラメータを設定します。

カスタム

設定したインジケータフォルダからカスタムインジケータを読み込んで一覧を表示します。

また、iOpen、iClose、iHigh、iLow、iHighest、iLowest の設定もここに表示されています。



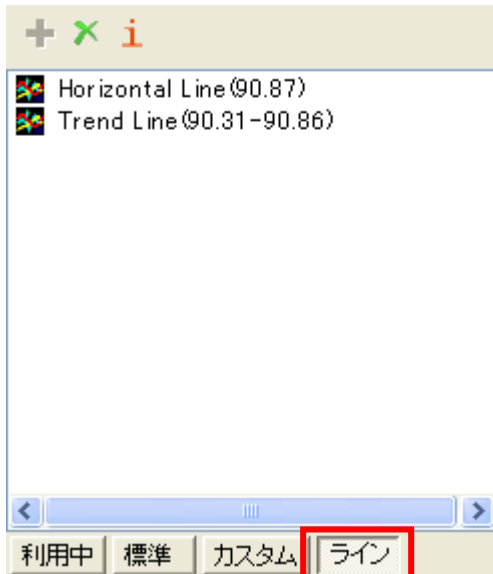
追加したいインジケータをダブルクリックするか、


追加したいインジケータを選択し **+** をクリックすると


インジケータの設定ダイアログが出ます。

ライン

平行線、トレンドラインを引いた際にこちらに表示されます。



 選択したラインを削除します。

 選択したラインの設定を変更します。

また、名前の部分をダブルクリックすることでも設定値を変更できます

チャートウィンドウ

チャート表示

ヒストリーフォルダの設定が完了している場合は、ここにチャートが表示されますが、チャートのデータはメタトレーダーのヒストリーフォルダに保存されているものです。リアルタイムでは動きません。

チャートは、マウスのホイールでスクロールできます。また、移動ボタンをクリックすることでも、移動できます。

標準インジケータを設定するとチャートに表示されます。

認証が完了するまではチャートは表示されません。



縮小図が表示された状態だと、縮小図をクリックすることでクリックした箇所のチャートが表示されます。



簡易テスター

Tester タブでは簡易テスターの画面を表示します。

売買や決済の条件が設定してある場合「テスト実行」をクリックすることでテスターを実行します。


「結果クリア」をクリックするとテスターの結果をクリアすることができます。

対象時間足、初期投資金額、スプレッドを設定することができます。

「期間設定」でテスターにかける期間を設定します。設定自体は任意に設定できますが、EABuilder に読み込まれている期間以外での検証はできません。EABuilder に読み込まれる期間は時間足に関係なく 35000 本となっています。

また、関数を直接記述やカスタムインジケーターの設定、マルチタイムフレーム設定、他通貨ペア設定、上級設定、ゼロ決済が設定してある場合は簡易テスターを実行できません。

対象時間足	EURUSD,4H	初期投資金額(\$)	10000
対象期間	2009/08/19 10 - 2010/08/19 10	スプレッド	3
期間設定		テスト実行	結果クリア
総トレード数	0	勝トレード数	0
利益数	0	ロスカット数	0
総純益	0	総利益	0
プロフィットファクター	0.00	%イオレシオ	0.00
		負トレード数	0
		勝率	0.00
		総損失	0



実行後には対象チャートに注文や決済のマークが付きます。

**簡易テストの売買方法は、メタトレーダーとは計算の方法が違いますので同一の結果にはなりません。
あくまで目安としてお使いください。**

総トレード数 : 簡易テストでの全てのトレードの数です。

勝ちトレード数 : 簡易テストでの勝ちトレードの数です。

負けトレード数 : 簡易テストでの負けトレードの数です。

利食数 : 利食条件で設定した項目で利食した数です。

ロスカット数 : 損切条件で設定した項目で損切した数です。

勝率 : 総トレード数の勝ちトレード数の割合です。

総純益 : 総利益から総損失を引いたものです。

総利益 : 勝ちトレードで得られた利益の合計です。

総損失 : 負けトレードで失った損益の合計です。

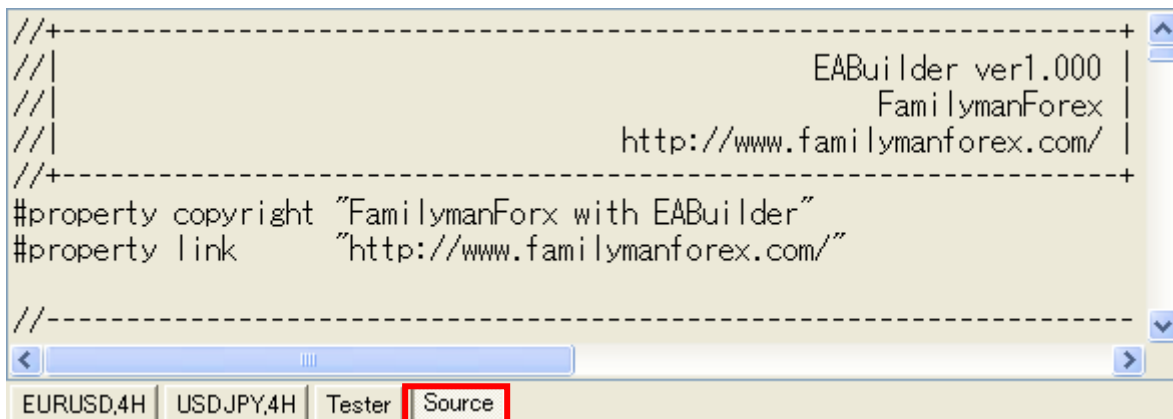
プロフィットファクター : 総利益を総損失で割ったものです。

ペイオフレシオ : 勝ちトレードの平均損益を負けトレードの平均損失で割ったものです。

ソース表示

Source タブには設定した条件でソースが表示されます。

認証が完了するまではソースは表示されません。



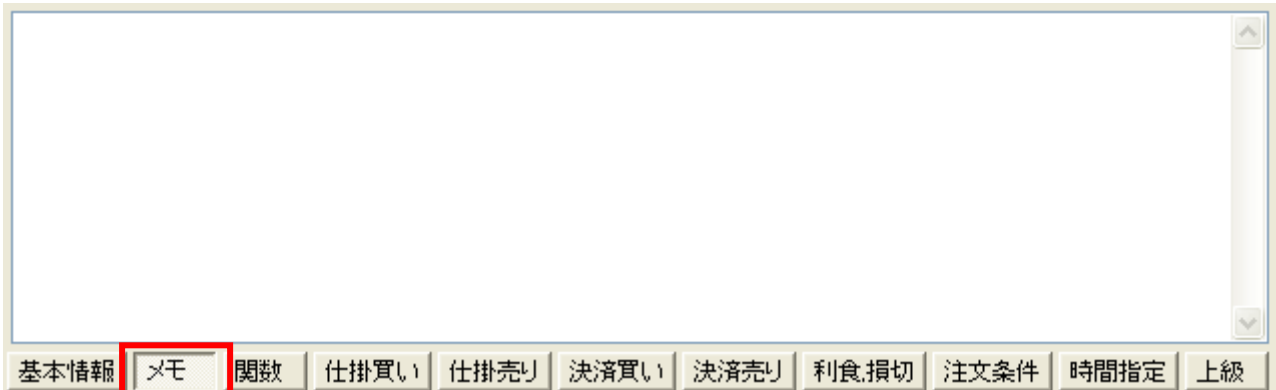
```
//+-----+
//|                                     EABuilder ver1.000 |
//|                                     FamilymanForex |
//|                                     http://www.familymanforex.com/ |
//+-----+
#property copyright "FamilymanForex with EABuilder"
#property link      "http://www.familymanforex.com/"

//-----
```

EURUSD,4H | USDJPY,4H | Tester | **Source**

メモ

手法の説明などを自由に書き込みできます。
 ここに入力したものはファイルメニューに表示されます。



関数

インジケータの関数を設定します。

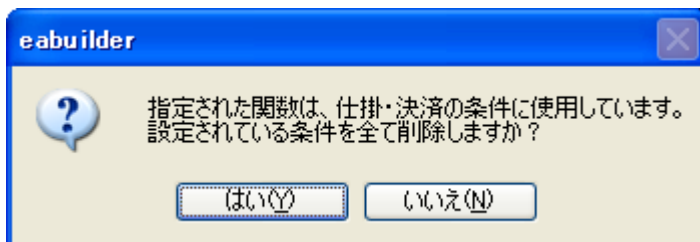


インジケータの追加で追加したものがこちらに追加されます。

関数は 100 個まで登録することができます。

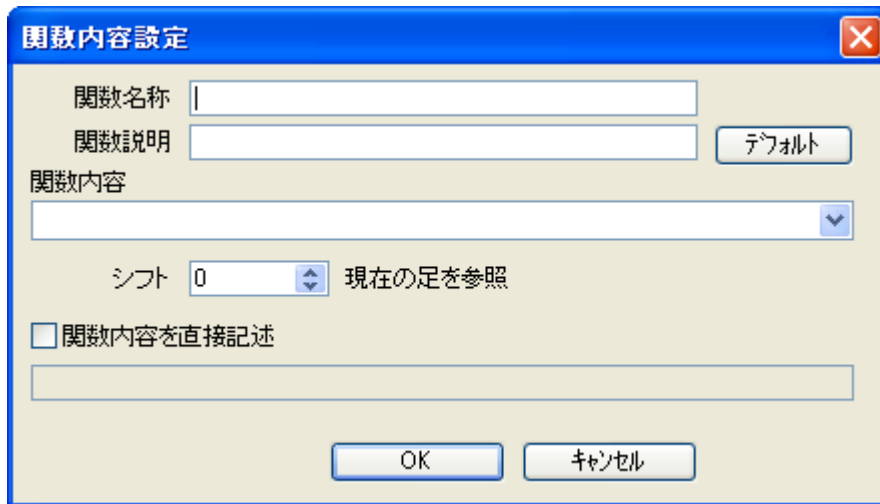
内容を編集する場合は変更したい項目を選択して「編集」をクリックするか、ダブルクリックで編集できます。
 また、空欄を編集することで新規に作成することもできます。

関数を削除したい場合は、削除したい関数を選択して「削除」ボタンをクリックすると、選択した関数を削除します。削除したい関数が仕掛や決済条件で設定されている場合は、確認画面が出ます。「はい」をクリックすると削除したい関数が使用されている仕掛や決済条件も削除されますのでご注意ください。



関数をシフトしたい場合は、シフトしたい関数を選択しシフトボタンの右に数値を設定して「シフト」ボタンを押すことで、選択した関数を設定値だけシフトさせることができます。

関数内容設定


関数名称:

関数の名称を入力します。

関数説明:

関数の説明を入力します。

関数内容:

設定したインジケーターの内容を選択します。

シフト:

設定したインジケーターのどの足の値を使用するかを設定します。

0で現在値を参照し、過去の足を見るには数値を増やしていきます。

1本前の足の値があるときには1を入力します。

関数内容を直接記述:

ここにチェックを入れると、関数の内容を直接記述することができます。

上級者向けの設定です。こちらに関数を記述した場合、簡易テスターは使えません。

仕掛買い・仕掛売り

仕掛の売買条件を設定します。

買いと売りでそれぞれ10個の設定(ロジック)を別々に設定することができます。

そして、それぞれの設定に判定条件を50個設定することができます。

設定した条件すべてがOKとなった時、そのロジックで仕掛けます。



条件	比較元	比較...	比較先	コメント
条件1				
条件2				
条件3				
条件4				
条件5				
条件6				

ロジック1	編集	削除	リハース	一括リハース	売買リハース	コピー(コピー先選択)
条件	比較元	比較...	比較先	コメント		
条件1						
条件2						
条件3						
条件4						
条件5						
条件6						
基本情報	メモ	関数	仕掛買い	仕掛売り	決済買い	決済売り
				利食,損切	注文条件	時間指定
						上級

仕掛内容設定

設定したい条件を選択し「編集」をクリックするか、条件をダブルクリックすることで編集できます。

内容設定 ✖

比較元 ▼

固定値 空白値を入力

シフト 現在の足を参照

比較条件 ▼

比較対象 ▼

固定値 空白値を入力

シフト 現在の足を参照

コメント

比較元:

比較する元の値を選択します。

比較される値を選択します。

関数で設定したもの他に以下の値が設定できます。

Fixed : 固定値です。下の固定値の欄に任意の数値を入力します。

空白値を入力にチェックを入れると、EMPTY_VALUE が入力されます。

Open : 始値です。

Close : 終値及び現在値です。

High : 高値です。

Low : 安値です

Open、Close、High、Low はシフトを設定できます。

シフトは0を現在の足の位置として数を増やすごとに過去の足にさかのぼっていきます。

比較条件:

比較元と比較対象の比較の条件を選択します。

== : 比較元と比較対象が同じ値の時 OK となります。

!= : 比較元と比較対象が違う値の時 OK となります。

- > : 比較元より比較対象が大きい時 OK となります。
- < : 比較元より比較対象が小さい時 OK となります。
- >= : 比較元が比較対象以上の時 OK となります。
- <= : 比較元が比較対象以下の時 OK となります。

>と>=の違いは、比較対象の値を含むか含まないかの違いです。

例えば、

RSI>20 の場合は RSI の値が 20 より少しでも大きくないと OK となりません。

RSI>=20 の場合は RSI が 20 の場合も OK となります。

比較対象:

比較される値を選択します。

比較元と同様の設定ができます。

コメント:

設定にコメントをつけることができます。

リバース・一括リバース・売買リバース

設定している条件の比較条件の不等号を左右逆向きにすることができます。

= と <> には影響がなく、> < >= <= のみ向きが変わります。

リバース

選択している条件の比較条件の不等号を左右逆向きにすることができます。

条件1	001 MA(10)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1[Moving Average]	>=	Close[1]

条件1	001 MA(10)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1[Moving Average]	>=	Close[1]

一括リバース

設定されている条件の比較条件の不等号を一括で左右逆向きにすることができます。

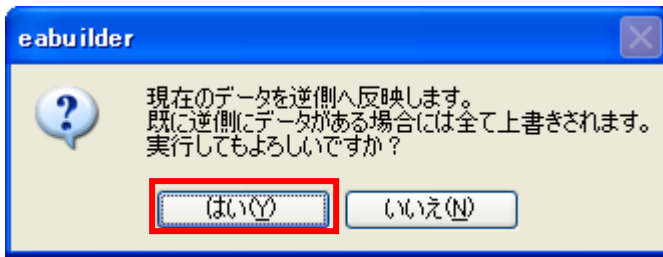
条件1	001 MA(10)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1[Moving Average]	>=	Close[1]

条件1	001 MA(10)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1[Moving Average]	<=	Close[1]

売買リバース

仕掛買い又は仕掛売りで設定している条件を、仕掛買いから仕掛売りへ、又は仕掛売りから仕掛買いへ、比較条件の不等号を逆向きにして設定できます。

反対側の条件は削除され上書きで作成されます。上書きの確認が出ますので、よい場合は「はい」をクリックしてください。



条件1	001 MA(10)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1 [Moving Average]	>=	Close[1]

基本情報 メモ 関数 **仕掛買い** 仕掛売り 決済買い 決済売り 利食損切 注文条件

条件1	001 MA(10)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	003 MA(10)-1 [Moving Average]	<=	Close[1]

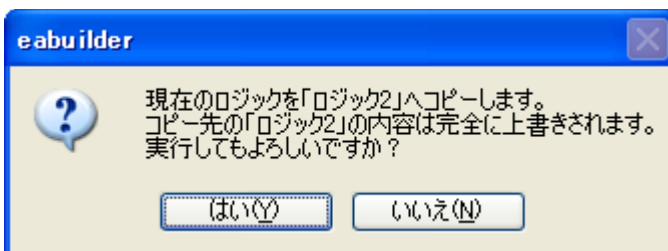
基本情報 メモ 関数 仕掛買い **仕掛売り** 決済買い 決済売り 利食損切 注文条件

コピー

ロジックをコピーする機能です。



コピー先選択から、コピーしたいロジックを選ぶと確認画面が出ますので、コピー先のロジックにコピー元のロジックをコピーする場合は「はい」をクリックしてください。



決済買い・決済売り

決済の条件を設定します。

仕掛と同様に買いと売りでそれぞれ 10 個の設定(ロジック)を別々に設定することができ、それぞれの設定に判定条件を 50 個設定することができます。

設定方法は売買条件と同様です。設定した条件すべてが OK となった時、そのロジックで決済します。

条件	比較元	比較...	比較先	コメント
条件1				
条件2				
条件3				
条件4				
条件5				
条件6				

基本情報 メモ 関数 仕掛買い 仕掛売り **決済買い** 決済売り 利食損切 注文条件 時間指定 上級

条件	比較元	比較...	比較先	コメント
条件1				
条件2				
条件3				
条件4				
条件5				
条件6				

基本情報 メモ 関数 仕掛買い 仕掛売り 決済買い **決済売り** 利食損切 注文条件 時間指定 上級

決済内容設定

設定したい条件を選択し「編集」をクリックするか、条件をダブルクリックすることで編集できます。

内容設定 ✕

比較元 ▼

固定値 空白値を入力

シフト ▼ 現在の足を参照

比較条件 ▼

比較対象 ▼

固定値 空白値を入力

シフト ▼ 現在の足を参照

コメント

OK キャンセル

比較元:

比較する元の値を選択します。

比較される値を選択します。

関数で設定したものの他に以下の値が設定できます。

Fixed : 固定値です。下の固定値の欄に任意の数値を入力します。

空白値を入力にチェックを入れると、EMPTY_VALUE が入力されます。

Open : 始値です。

Close : 終値及び現在値です。

High : 高値です。

Low : 安値です

Open、Close、High、Low はシフトを設定できます。

シフトは 0 を現在の足の位置として数を増やすごとに過去の足にさかのぼっていきます。

比較条件:

比較元と比較対象の比較の条件を選択します。

== : 比較元と比較対象が同じ値の時 OK となります。

!= : 比較元と比較対象が違う値の時 OK となります。

> : 比較元より比較対象が大きい時 OK となります。

< : 比較元より比較対象が小さい時 OK となります。

>= : 比較元が比較対象以上の時 OK となります。

<= : 比較元が比較対象以下の時 OK となります。

>と>=の違いは、比較対象の値を含むか含まないかの違いです。

例えば、

RSI>20 の場合は RSI の値が 20 より少しでも大きくないと OK となりません。

RSI>=20 の場合は RSI が 20 の場合も OK となります。

比較対象:

比較される値を選択します。

比較元と同様の設定ができます。

コメント:

設定にコメントをつけることができます。

リバーズ・一括リバーズ・売買リバーズ

設定している条件の比較条件の不等号を左右逆向きにすることができます。

== と <> には影響がなく、> < >= <= のみ向きが変わります。

リバーズ

選択している条件の比較条件の不等号を左右逆向きにすることができます。

条件1	002 MA(20)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	<=	Close[1]
条件1	002 MA(20)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	<=	Close[1]

一括リバーズ

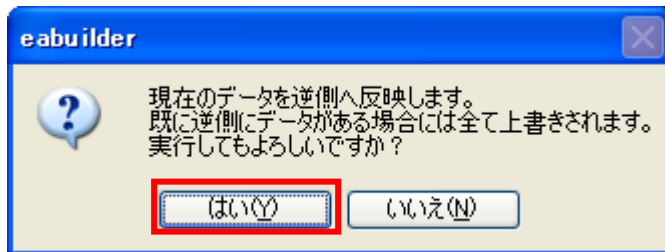
設定されている条件の比較条件の不等号を一括で左右逆向きにすることができます。

条件1	002 MA(20)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	<=	Close[1]
条件1	002 MA(20)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	>=	Close[1]

売買リバース

仕掛買い又は仕掛売りで設定している条件を、仕掛買いから仕掛売りへ、又は仕掛売りから仕掛買いへ、比較条件の不等号を逆向きにして設定できます。

反対側の条件は削除され上書きで作成されます。上書きの確認が出ますので、よい場合は「はい」をクリックしてください。



条件1	002 MA(20)[Moving Average]	>	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	<=	Close[1]

基本情報 メモ 関数 仕掛買い 仕掛売り 決済買い 決済売り 利食損切 注文条件

条件1	002 MA(20)[Moving Average]	<	Close[0]
条件2	004 MA(20)-1[Moving Average]	>=	Close[1]

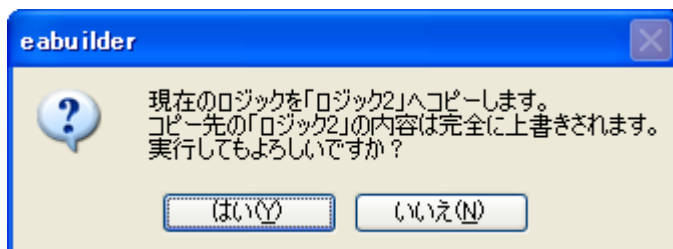
基本情報 メモ 関数 仕掛買い 仕掛売り 決済買い 決済売り 利食損切 注文条件

コピー

ロジックをコピーする機能です。



コピー先選択から、コピーしたいロジックを選ぶと確認画面が出ますので、コピー先のロジックにコピー元のロジックをコピーする場合は「はい」をクリックしてください。



利食、損切

利食い、損切りや注文条件を設定します。数値を入力したもののみ有効となります。

設定値に到達するか、決済条件に当てはまるか、どちらか早い方での決済となります。

利食/損切条件(1トレード)		利食/損切条件(1日トータル)	
利食条件	利食Pip数 <input type="text" value="0"/>	勝ち逃げ条件	勝ち逃げPip数 <input type="text" value="0"/>
	利食%(資金比率) <input type="text" value="0.0"/>		勝ち逃げ%(資金比率) <input type="text" value="0.0"/>
損切条件	損切Pip数 <input type="text" value="0"/>	損失上限条件	損失上限Pip数 <input type="text" value="0"/>
	損切%(資金比率) <input type="text" value="0.0"/>		損失上限%(資金比率) <input type="text" value="0.0"/>
* Pip数 クロス円: 1Pip = 0.01 その他: 1Pip = 0.0001		* Pip数 クロス円: 1Pip = 0.01 その他: 1Pip = 0.0001	
基本情報 メモ 関数 仕掛買い 仕掛売り 決済買い 決済売り 利食損切 注文条件 時間指定 上級			

利食/損切条件(1トレード)

1トレードごとの利食いと損切りの条件を設定できます。

利食 Pip 数:

利食いたいピップ数を入力します。

利食%(資金比率):

資金に対しての利食いたい%を入力します。

損切 Pip 数:

損切りしたいピップ数を入力します。

損切%(資金比率):

資金に対して損切りしたい%を入力します。

利食/損切条件(1日トータル)

1日トータルでの損益によりその日のトレードをやめる設定ができます。

勝ち逃げ Pip 数:

勝ち逃げしたいピップ数を入力します。

勝ち逃げ%(資金比率):

資金に対しての勝ち逃げしたい%を入力します。

損失上限 Pip 数:

損失上限のピップ数を入力します。

損失上限%(資金比率):

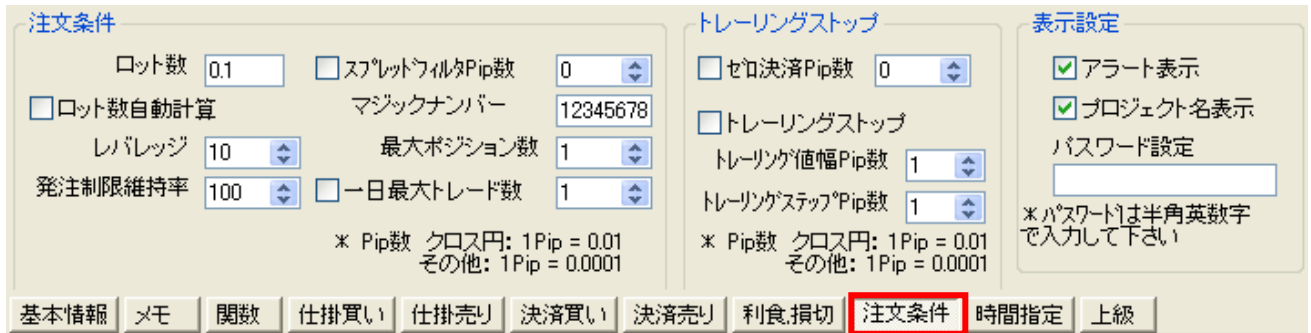
資金に対して損失上限の%を入力します。

EABuilder でのピップ数は、

クロス円で 0.01 単位を 1pip、それ以外の通貨ペアで 0.0001 単位を 1pip としています。

注文条件

注文に関する色々な設定や、表示設定を設定します。



注文条件

ロット数:

注文するロット数を設定します。

0.1 ロットが 1 万通貨になります。

マイクロロットを使用する場合は、0.01 ロットが 1,000 通貨になります。

ロット数自動計算:

チェックすると、レバレッジの入力値に従って余剰証拠金の残高からロット数を自動的に計算します。

10 と入力した場合、その時の残高を 10 倍した資金で取引できる最大のロット数でトレードします。

ただし、注文できる最大のロット数を超過して注文することはできません。

例えば、レバレッジの入力が 10 で残高が 10 万円だった場合、10 万円 × 10 の 100 万円の資金で取引できる最大のロット数でトレードします。

発注制限維持率:

証拠金維持率が入力値以下の場合には新たな発注は行いません。

例えば、入力値が 300 の場合、証拠金維持率が 300%を下回りますと、仕掛のサインが出ても新たな発注は行いません。

スプレッドフィルターPip 数:

スプレッドが設定値よりも大きく広がった場合には仕掛けません。

決済はフィルターの有無に関係なく決済いたします。

例えば、入力値が 4 の場合はスプレッドが 4Pips までは注文しますが、5Pips に広がった時は仕掛のサインが出ても注文しません。

マジックナンバー:

EA 固有の番号を設定することで EA がマジックナンバーでポジションの管理をします。

マジックナンバーは 8 桁までの整数を入力して設定します。

異なる EA を同一通貨ペアで動作させた場合に、使用する時間足に関わらず、EA のマジックナンバーが同じだと、決済時にどちらのポジションか区別がつかなくなります。そのため想定外のところで決済する可能性がありますので、EA 一つに対し固有の番号一つを付けるようにしてください。

最大ポジション数:

EA が同時に持てる最大のポジション数を設定します。

売りと買いは区別せずトータルのポジション数となります。

一日最大トレード数:

一日にトレードできる最大の回数を設定します。

チェックすると、入力回数以上の仕掛は行いません。

この設定は勝ち負けに関係なく、仕掛けた回数によってのみ設定されます。

トレーリングストップ

ゼロ決済 Pip 数:

チェックして Pip 数を入力しておく、保有のポジションの含み益が設定した Pip 数以上になった時に、損切の指値を建値に変更します。損切の設定がされていない場合も建値に指値が設定されます。この機能は簡易テスターに対応していませんので、バックテストはメタトレーダーで行ってください。

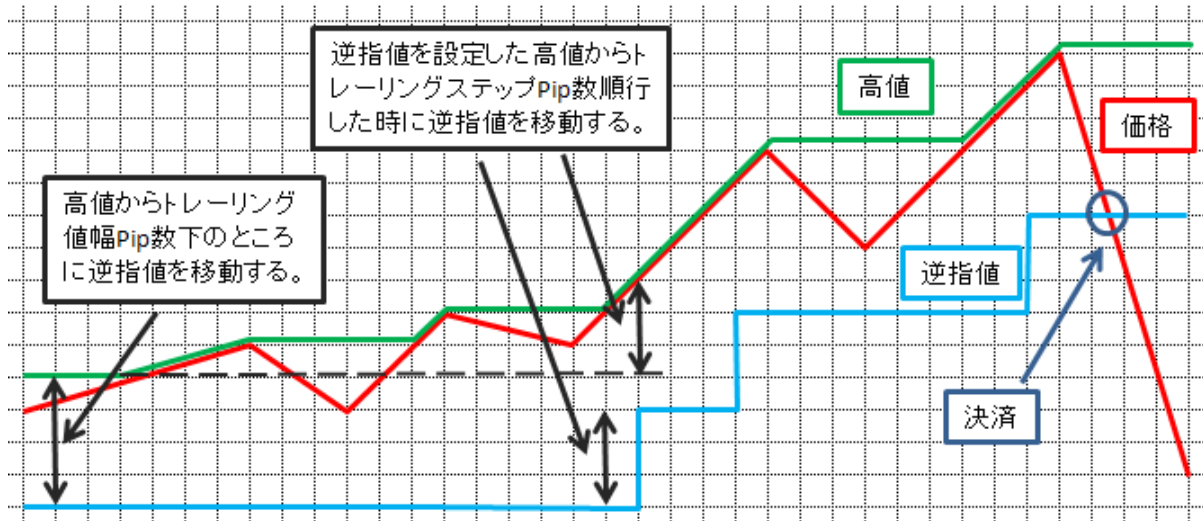
トレーリングストップ:

チェックしてトレーリング値幅 Pip 数とトレーリングステップ Pip 数を入力しておく、トレーリングストップができます。決済の逆指値を設定した高値/安値から含み益がトレーリングステップ Pip 数以上になった時に、高値/安値からトレーリング値幅 Pip 数離れた価格に逆指値を移動します。

この機能は簡易テスターに対応していませんので、バックテストはメタトレーダーで行ってください。

買いの場合のトレーリングの動きを図示します。

売りの場合は上下逆向きでイメージしてください。



表示設定

アラート表示:

チェックしておく、注文が約定した際にアラート表示します。
エラー表示に関しては、このチェックに関係なく表示します。

プロジェクト名表示:

チェックすると、「基本情報」の「mq4 出力ファイル名」で設定した名前をチャートに表示します。

パスワード設定:

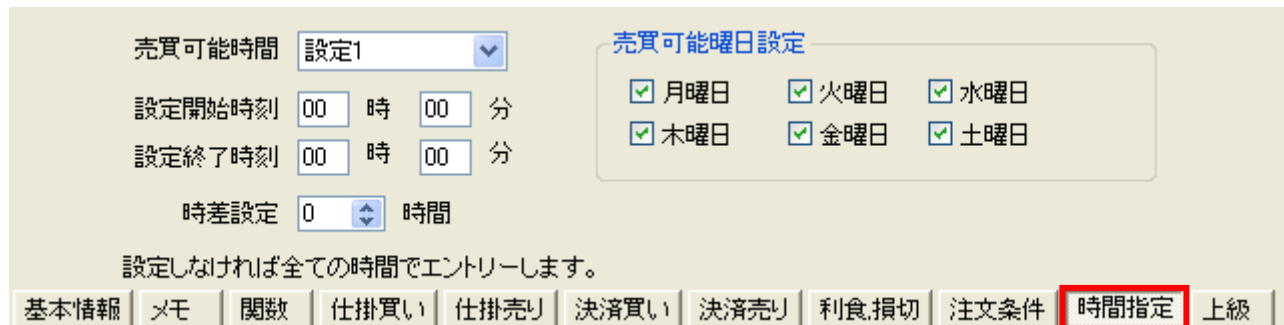
EA の使用にパスワードでロックをかけたい時にパスワードを入力します。
必要な場合は入力なしで構いません。
入力の際は半角英数字で入力してください。

時間指定

売買可能な時間及び曜日を設定します。

設定は2つ設定できます。

この設定は仕掛の時間の設定で、決済は時間に関係なく行われます。



売買可能時間:

設定1と2を切り替えます。

設定開始時間:

開始時間を設定します。

設定終了時間:

終了時間を設定します。

時差設定:

日本時間とチャート上の時間との時差を設定します。

ここで設定したものは、売買可能時間の設定1と設定2のどちらにも有効になります。

設定1と設定2で異なった設定は出来ませんのでご注意ください。

夏時間の期間は国によっても異なるため、ご使用の証券会社がどの夏時間に対応しているのか、設定前に調べる必要があります。

売買可能曜日設定:

売買可能な曜日を設定します。

売買したい曜日にチェックを入れます。チェックを外した曜日には仕掛けません。

ここで設定したものは、売買可能時間の設定1と設定2のどちらにも有効になります。

設定1と設定2で異なった設定は出来ませんのでご注意ください。

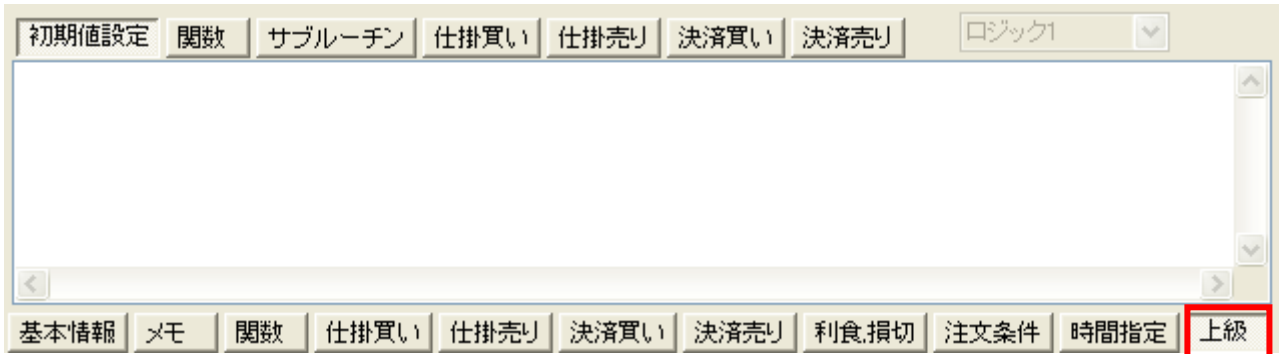
上級

条件を独自に記述したい場合に使用します。

初期値設定、関数、サブルーチン、仕掛買い、仕掛売り、決済買い、決済売りはボタンをクリックして切り替えます。

入力は半角英数字のみとなります。全角文字を使用したい場合は、コピーペーストで使用してください。

仕掛条件と決済条件はそれぞれロジックを 1 から 10 まで選択できます。



すでに、通常の仕掛、決済の条件が設定してある場合でも、上級設定の方が優先されますのでご注意ください。



メニューバー

ファイルメニュー

新規作成:

プロジェクトを新しく作成します。

開く:

保存してあるプロジェクトを開きます。

上書き保存:

プロジェクトを保存します。

新規作成したものを上書き保存する場合は、名前がありませんので、名前を付ける必要があります。

その場合は「名前を付けて保存」のダイアログが開きますので、名前を付けて保存してください。

「基本情報」の「mq4 出力ファイル名」とは異なりますのでご注意ください。

名前を付けて保存:

プロジェクトに名前を付けて保存します。

mq4 出力:

プロジェクトのソースを mq4 ファイルで出力します。

「基本情報」の「出力ファイル名」で出力されます。

(最近使ったファイル):

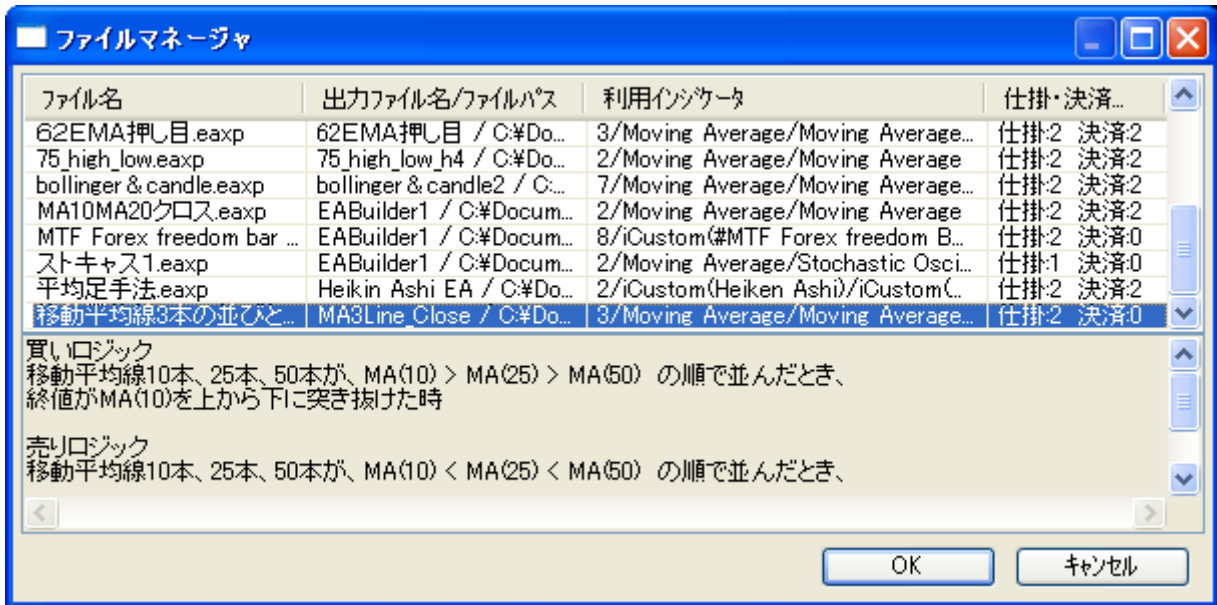
最近使ったプロジェクトファイルが表示されます。

ファイルマネージャー:

使用したファイルのデータが表示されます。

ダブルクリックすることによりファイルを開くことも出来ます。

ファイルを選択すると、メモに書かれた内容が下に表示されます。



ファイル名:

保存した eaxp ファイルのファイル名が表示されます。

出力ファイル名/ファイルパス:

mq4 ファイルのファイル名と保存されたフォルダのパスが表示されます。

利用インジケータ:

使用しているインジケータの数と、使用しているインジケータの名前が表示されます。

仕掛決済

仕掛と決済でロジックが設定してある数がそれぞれ表示されます。

アプリケーションの終了:

EAB を終了させます。

表示メニュー

全更新:

チャートの表示が崩れた時などに、チャートウィンドウを更新します。

また、条件を入力したあとのソースを最新のものに更新します。

チャートメニュー

チャート追加:

任意のチャートを追加します。



追加したい通貨と期間を選択し OK をクリックすると追加されます。

追加されるチャートは 35000 本までとなります。

5 分足で約半年分、15 分足で約 1 年半分、1 時間足で約 6 年分となります。

EABuilder では「ツール」→「設定」→「MT4 連動設定」→「履歴データフォルダ」で設定したフォルダ内の通貨ペアのデータを読み込んで表示します。

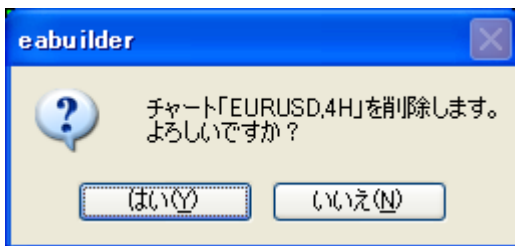
設定したフォルダ内に存在しない通貨ペアや時間足のデータは表示できません。

履歴データはメタトレーダーを起動し、チャートを表示することによって作成されますので、EABuilder で表示させたい通貨ペアがある場合は、メタトレーダーで一度表示させてから再起動し、その後で EABuilder を再起動してみてください。

チャート削除:

選択しているチャートを削除します。

確認画面が出ますので、削除してもいい場合は「はい」をクリックしてください。



縮小図表示切替:

チャートの縮小図の表示を切り替えます。

表示 OFF



表示 ON

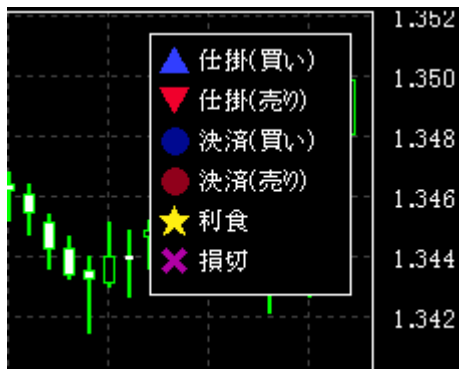


縮小図で赤ラインの位置のチャートを表示しています。縮小図は全データを縮小して表示していますので、縮小図では上昇トレンドでも、ローソク足が下降トレンドになる場合もあります。

凡例表示:

簡易テスター結果の凡例の表示を切り替えます。

表示 ON



表示 OFF

**チャート最終地点へスクロール:**

チャートの一番古いデータに移動します。

チャートを前へスクロール:

チャートの古い方向にスクロールします。

チャートを後へスクロール:

チャートの新しい方向にスクロールします。

チャート開始地点へスクロール:

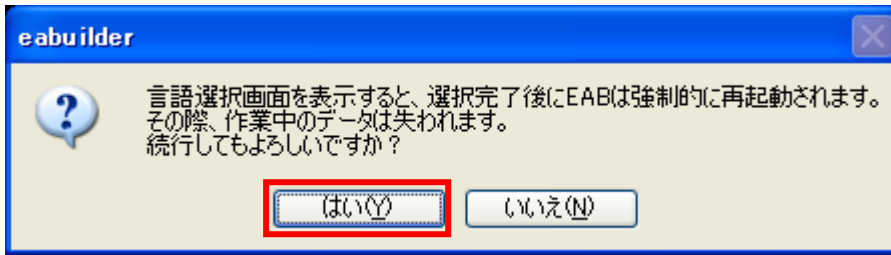
チャートの最新のデータに移動します。

ツールメニュー

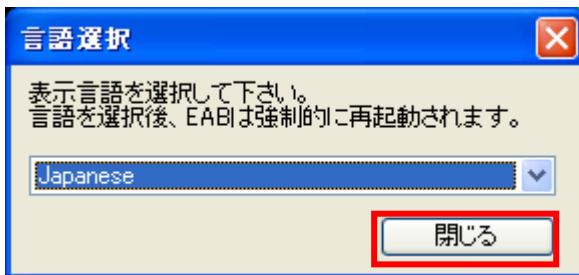
言語選択:

言語の選択を行います。

確認ダイアログが出ますので、変更する場合は「はい」をクリックしてください。



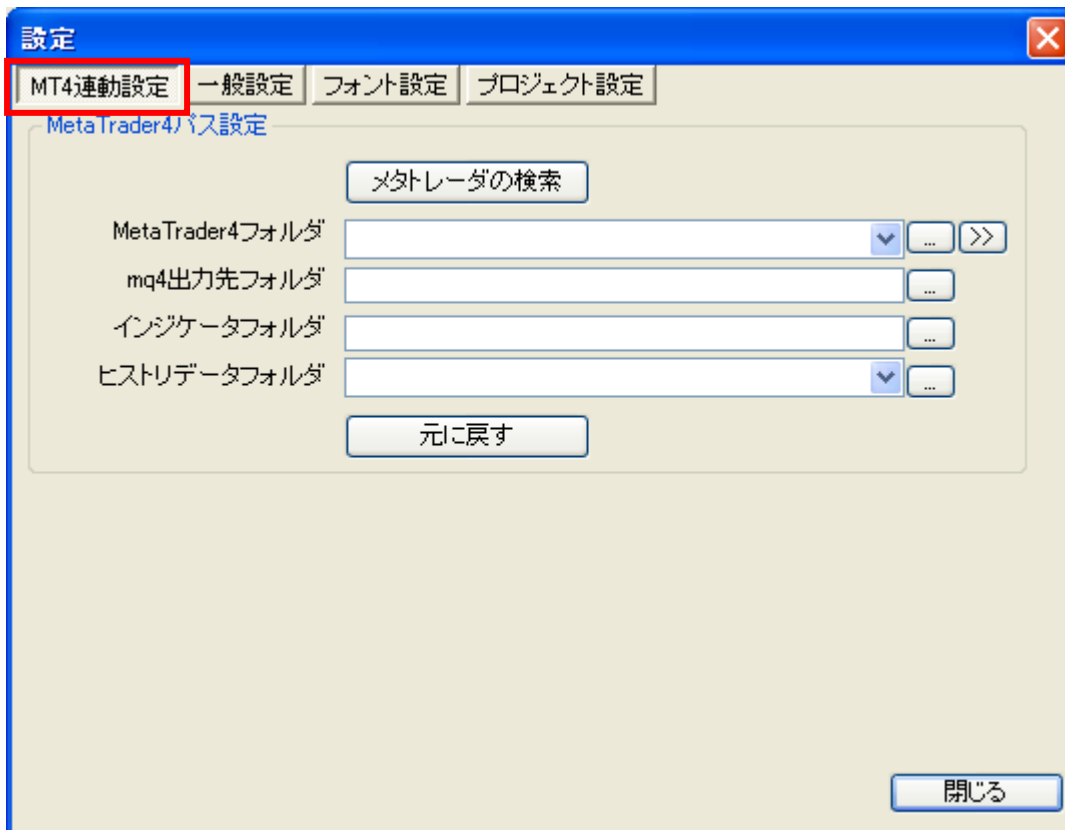
言語選択ダイアログが出ますので、希望の言語を選択後「閉じる」をクリックすると再起動されます。



設定:

各種設定を行います。

MT4 連動設定



MetaTrader4 パス設定


(詳しい設定方法は、フォルダ設定をご覧ください。)


メタトレーダーの検索:

インストールされているメタトレーダーを検索します。

MetaTrader4 フォルダ:

メタトレーダーのフォルダを設定します。

 をクリックするとフォルダ選択ダイアログが出ますので、任意に設定できます。

Metatrader4 フォルダを設定後  をクリックすると、mq4 出力フォルダとインジケータフォルダが自動で設定されます。

mq4 出力先フォルダ:

EAB で作成した EA を出力するフォルダを設定します。


インジケータフォルダ:

カスタムインジケータを使用するフォルダを設定します。

ここに設定されたフォルダのカスタムインジケータを、インジケータウインドウのカスタムに一覧表示します。

ヒストリーデータフォルダ:

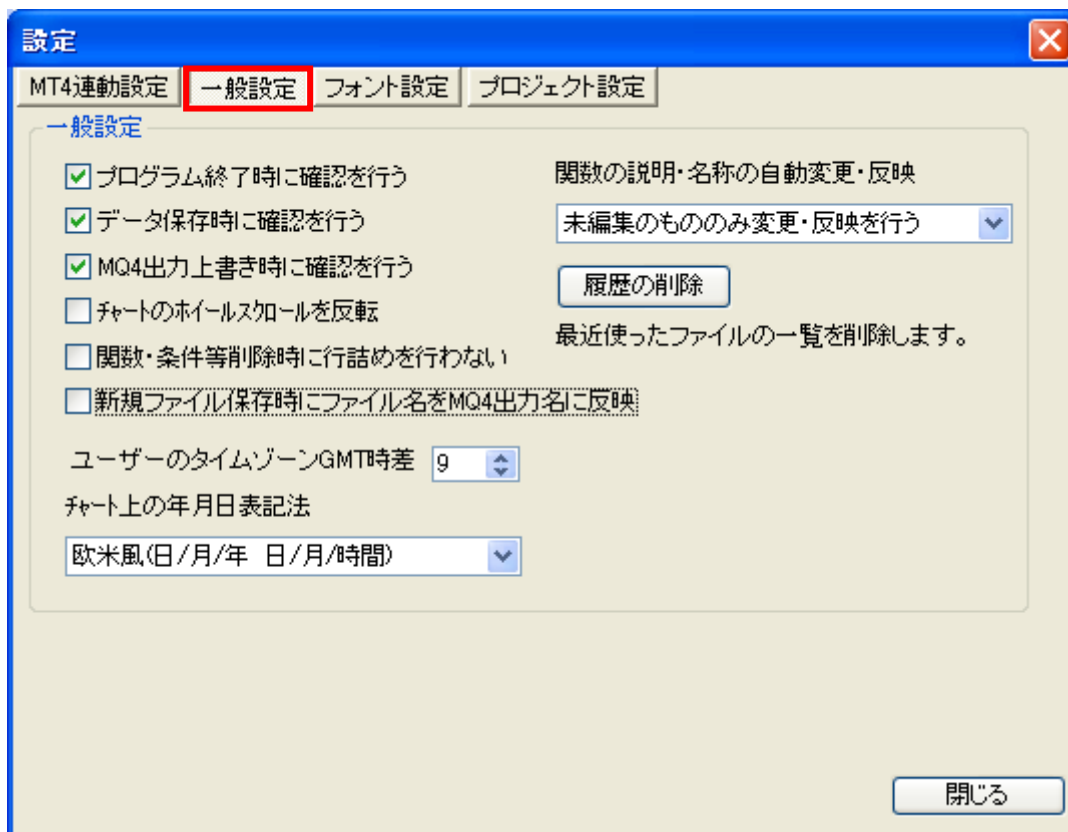
EAB でチャートを表示させるためのヒストリーデータのフォルダを設定します。

 をクリックすると Metatrader4 フォルダで設定されたメタトレーダーのヒストリーフォルダが一覧で表示されますので、選択してください。

元に戻す:

設定を元に戻します。

一般設定



その他

プログラム終了時に確認を行う

チェックするとプログラムの終了時に確認のダイアログを出します。

データ保存時に確認を行う

チェックするとデータ保存時に確認のダイアログを出します。

MQ4 出力上書き時に確認を行う

チェックすると MQ4 出力の上書き時に確認のダイアログを出します。

チャートのホイールスクロールを反転

チェックするとホイールスクロールによるチャートの表示移動を反転することができます。

関数・条件等削除時に行詰めを行わない

チェックすると関数や条件を削除した際に行詰めを行わないようにできます。

新規ファイル保存時にファイル名を MQ4 出力名に反映

チェックすると新規ファイル保存時にファイル名を MQ4 出力名に反映することができます。

ユーザーのタイムゾーン GMT 時差

GMT と日本時間の時差である 9 を設定しておく、チャートがそのままの時刻で表示されます。

チャートの時間表示を設定値だけずらして表示することができます。

チャート上の年月日表記法

チャート上の年月日の表記方法を、欧米風(日/月/年 日/月/時間)と日本風(年/月/日 月/日/時間)に変更することができます。

関数の説明・名称の自動変更・反映

関数を設定する際の説明・名称の設定です。

自動変更・反映は行わない:

関数を設定した際に関数の説明・名称を自動で変更せず、必ず入力するようにします。

未編集のもののみ変更・反映を行う:(デフォルト)

関数を設定した際に未編集だった場合のみ関数の説明・名称を自動で変更・反映します。

全て変更・反映を行う:

関数を設定した際に関数の説明・名称を自動で変更・反映します。

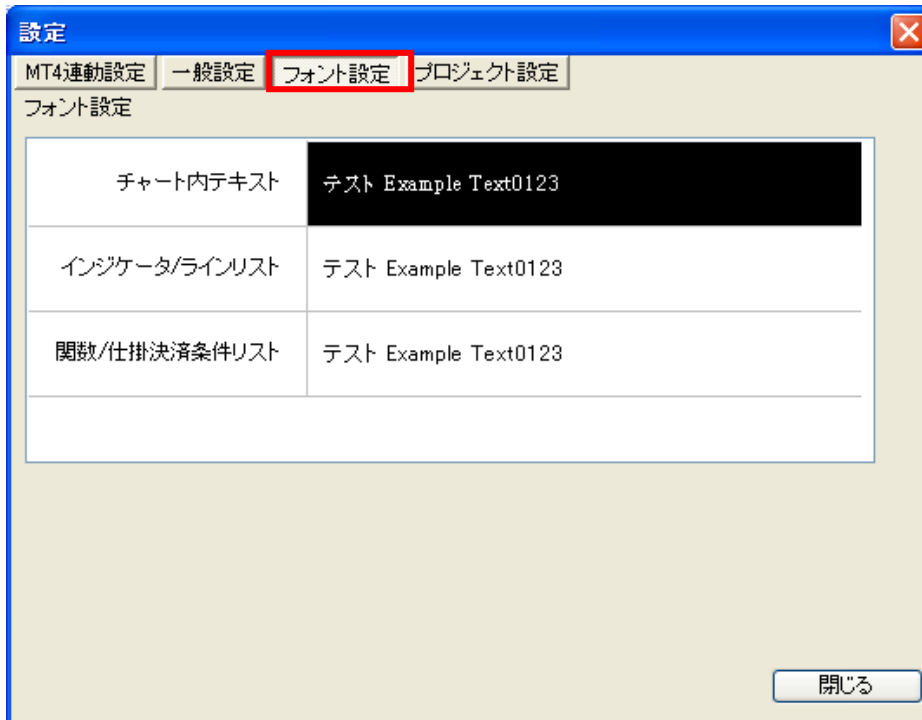
履歴の削除

最近使ったファイルの履歴を削除します。

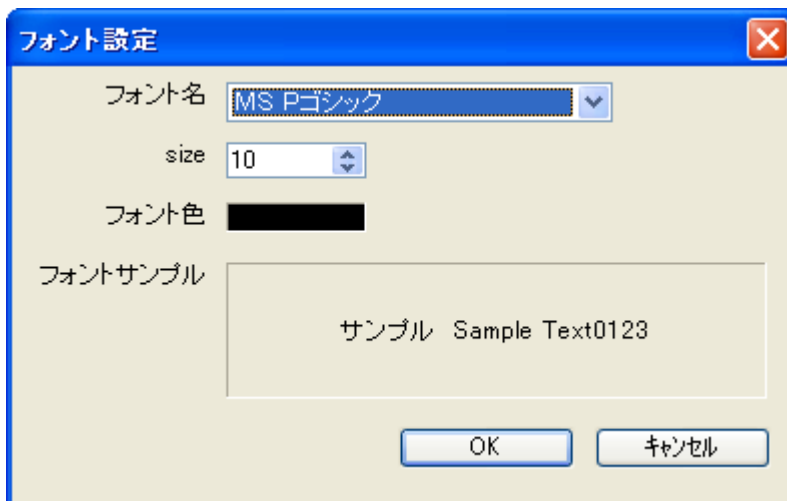
フォント設定

各種テキストの表示フォントの設定をします。

日本語を表示している箇所、英字のフォントを設定すると文字化けを起こしますのでご注意ください。



変更したい項目をダブルクリックすると、設定画面が出てきます。



フォント名

使用するフォントを選択します。

size

フォントのサイズを設定します。

フォント色

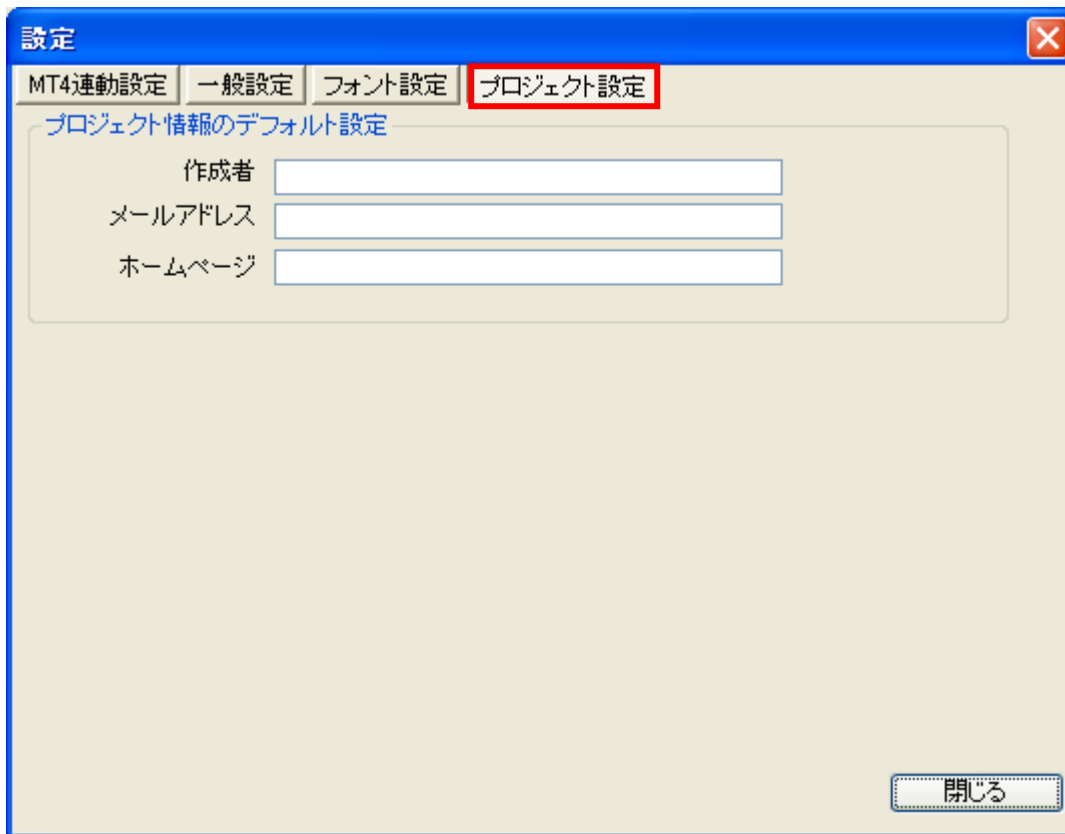
フォントの色を設定します。

フォントサンプル

設定したフォントでサンプルの文字列を表示します。

プロジェクト設定

こちらで設定したものは、新規作成時に基本情報の各欄に自動で反映されます。



作成者:

作成者の名前を設定します。

メールアドレス:

メールアドレスを設定します。

ホームページ:

ホームページの URL を設定します。

ヘルプメニュー

PDF マニュアル:

PDF のマニュアルが別画面で開きます。

PDF ファイルを見るには AdobeReader が必要です。

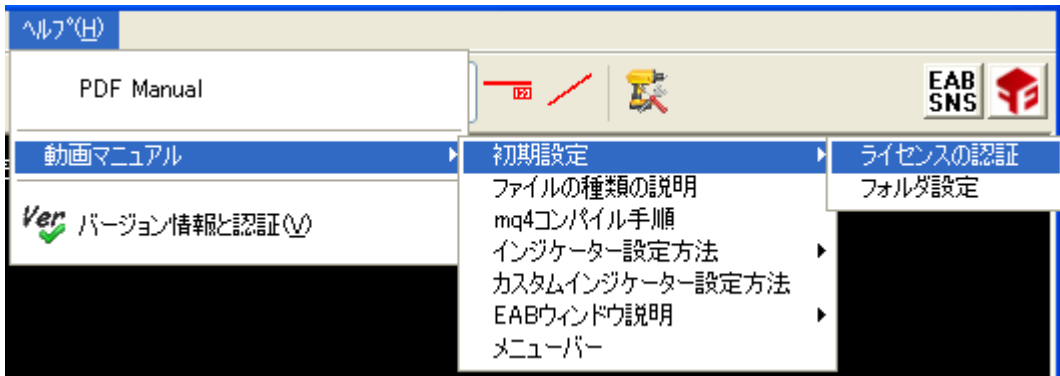
こちらからダウンロードしてください。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

動画マニュアル:

動画マニュアルが別画面で開きます。

見たい動画マニュアルを選択すれば EABrowser が開きます。



EABrowser

再生するには画面をクリックするか再生ボタンをクリックしてください。

一時停止するには再生中の画面をクリックするか一時停止ボタンをクリックしてください。

音量調節ができます。

全画面ボタンをクリックすると、動画を全画面で再生できます。

全画面から戻る時は再度全画面ボタンをクリックするか ESC キーを押してください。



バージョン情報と認証:

バージョン情報の表示とライセンス認証を設定します。

ライセンス認証

初回のライセンス認証は、「初回ライセンス登録実行」をクリックして行います。

設定方法は上記の、「ライセンス認証」の項目をご覧ください。



再認証

アップデートに失敗した際に、再認証が必要になる場合があります。

再認証の場合は「再認証」をクリックします。

メールアドレス、認証キー、お申込み番号が入力できるようになりますので、控えておいた情報を入力してください。

入力完了後、「認証確認」をクリックしますと、サーバーの登録情報と一致しているか確認し認証します。

再認証は、同一 PC である必要があります。



ステータスバー

一番下のステータスバーに EABSNS の情報が表示されています。

一番左側には EABSNS での名前と、レベルが表示されます。

EAB のライセンス認証時に登録したアドレスと、EABSNS の登録のアドレスが一致していなければ表示されません。

また、レベル表示の更新は一日に一度のみです。

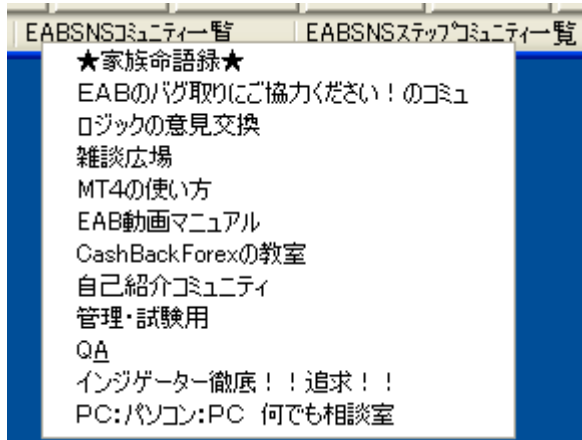
例えば、Level5 から Level20 にアップしたとしても、Level20 の表示になるのは次の日です。



「EABSNS コミュニティー一覧」をクリックすると、EABSNS のコミュニティの一覧が表示されます。

選択してクリックすることによりそのコミュニティに飛ぶことができます。

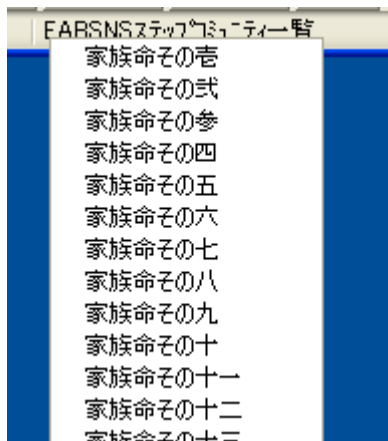
新しく設置されたコミュニティが一覧に反映されるまでは、サーバーの処理の関係で少し時間がかかることがあります。



「EABSNS ステップコミュニティ一覧」をクリックすると、EABSNS のステップコミュニティの一覧が表示されます。

選択してクリックすることによりそのステップコミュニティに飛ぶことができます。

新しく設置されたコミュニティが一覧に反映されるまでは、サーバーの処理の関係で少し時間がかかることがあります。



EAB 更新履歴

ver1.015

上級設定にサブルーチンを追加
Stochastic 設定値の不具合修正
ゼロ決済不具合箇所のソース修正

ver1.014

仕掛・決済条件にコメント出力を追加
仕掛・決済条件で固定値を使用する際に「空白値を入力」を追加
関数・仕掛・決済条件を削除時に行詰めの可否を設定に追加
新規ファイル保存時にファイル名を mq4 出力ファイル名に反映の可否を設定に追加
ゼロ決済不具合箇所のソース修正
EA の発注から約定するまで注文を 10 秒間繰り返すようにソースを変更(修正前は 100 回繰り返し)

ver1.013

時差表記削除
ロジック選択連動修正
設定値入力時の IME 制御

ver1.012

ソース不具合修正(トレーリングストップ関連の不具合修正)

ver1.011

トレーリングストップ不具合修正(設定値が保存されていなかった不具合修正)

ver1.010

ソース不具合修正(パスワードが正常に設定されていなかった不具合修正)
コミュニティー覧表示の不具合修正

ver1.009

ソース不具合修正

ver1.008

ロジックコピー修正(マウスホイール使用時の不具合修正)
インジケータ削除時の不正終了修正
簡易テスター修正
トレーリングストップ追加
上級設定追加・出力修正(「初期値設定」「関数」追加、半角入力に変更)
上級設定編集のタブ周り修正(タブ入力ができるように変更)
SNS 系統 重複項目対策
マジックナンバー修正(5桁以上の入力時のエラー修正)

ver1.007

ソース不具合修正(スプレッドの設定部分の不具合)

ver1.006

PDF マニュアル・動画マニュアル表示機能追加(ヘルプメニュー)

簡易テスター修正(有利に働いていた処理をメタトレーダーのテスターに近づくように修正)

関数シフト修正

ロジックコピー機能追加

ソース不具合修正(ロット数不具合修正、テスター時の速度アップ、パラメータ値チェック)

上級設定保存不具合修正(//以降が保存されない不具合修正)

インジケータ・関数の削除時修正

ステータスバー項目追加(SNS 連動機能)

ver1.005

リバース関連修正 決済にも適用

ver1.004

リバース関連修正

ver1.003

ファイルヒストリ関連・起動時のフリーズ修正

基本情報の内容・表示修正

認証関連修正

メニュー項目表記修正

ver1.002

ソース不具合修正

認証画面修正

パスワード入力欄修正・注記追加

関数・インジケータ削除時の注記修正

認証登録画面の生年月日保存関連修正

ver1.001

ソース不具合修正

ver1.000

ソースの不具合修正

カスタムインジケータのパラメータ消失不具合修正

リンク貼りつけ